

たてばやし市民計画2020

館林市第五次総合計画
重要事業実施計画書

～水と緑と人が輝く共創都市たてばやし～

平成30～32年度

館 林 市

目 次

1. 第五次総合計画重要事業実施計画の概要	2
(1)計画の目的	
(2)計画の位置付け	
(3)計画期間	
(4)基本構想について	
2. 計画の基本的フレーム	4
(1)人口フレーム	
(2)財政フレーム	
①重要事業費集計表	
②今後の財政見通し	
3. 第五次総合計画 重要事業一覧	6
4. 重要事業実施計画の内容	14
I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち	14
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	28
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	42
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち	50
V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち	70
VI 便利で快適な住みやすいまち	82
VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち	102
VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち	126
5. 参考資料	136
(1)主な基金の状況	
(2)公債費と市債の状況	
(3)定員適正化に向けた取組みと職員数	
(4)主な道路・街路及び施設整備事業計画期間	
(5)館林市役所行政機構図(平成30年度)	

1. 第五次総合計画重要事業実施計画の概要

(1) 計画の目的

重要事業実施計画は、館林市第五次総合計画基本構想で掲げた将来のまちの姿「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」を実現するため、基本構想及び基本計画で定めた施策目的の達成に向け、市が実施する重要な事業計画を示すものです。

(2) 計画の位置付け

総合計画は、市の将来のまちの姿を示す「基本構想」と基本構想を実現するための施策の方向を明らかにした「基本計画」、そしてその基本計画を具現化するための事業概要を示した「実施計画」の3層で構成されています。

本市では、「実施計画」の重点施策を取りまとめた「重要事業実施計画」と、全事業を対象とした作戦書「業務棚卸」の2本柱で構成しています。業務棚卸は計画の進行管理・生産性の向上に資することが期待されており、各担当部署における業務マネジメントツールとして多様な役割を果たしています。

重要事業実施計画は、中でも特に重点的に施策を実施する事務事業として位置づけるものです。

重要事業の選定にあたっては、厳しい財政状況を勘案しながら、補助制度・交付税制度の改革など、国や県の最新の動向を踏まえつつ、総合計画の達成貢献度や緊急性、市民ニーズなどの視点から精査し選定しました。これらの事業については、財政担当部署と協議し、特に重点的に予算配分されるよう調整しています。

(3) 計画期間

重要事業実施計画の期間は、平成30年度から平成32年度までの3カ年とします。これは、社会経済状況の変化や、市民生活を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、毎年度ローリングを実施し、財政状況を反映させるなど事務事業の見直しを行おうとするものです。

館林市第五次総合計画									
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
基本構想 10年間									
前期基本計画 5年間					後期基本計画 5年間				
※ 毎年見直し						実施計画 3年			
						実施計画 3年			
						実施計画 3年			

(4) 基本構想について

○将来のまちの姿

— 私たちがめざす館林の将来の姿を描いています —

「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」

私たちは、先人から受け継いだ自然・歴史・文化を大切にしながらそれらを生かし、後世に伝え残していかなければなりません。

一方、これからのまちづくりは、社会環境の変動や価値観の多様化にともない、社会の変化に応じたしくみや考え方が求められています。

そのためには、さまざまな分野の人たちが、それぞれの立場を生かし、新しいまちの姿を考え、それを共通の基盤としてまちを創る「共創」を基本理念とした物心ともに真に豊かな魅力あるまちづくりを進めていきます。

○基本目的

— 将来の姿を実現するため、八つの目的を達成します —

- I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
- II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち
- III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
- IV 子どもたちが健やかに成長できるまち
- V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち
- VI 便利で快適な住みやすいまち
- VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち
- VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち

○基本方針

— 基本目的を達成するため三つの方針を大切にします —

1 共にまちを創る「共創」によるまちづくりを進めます

すべての市民や団体、組織、行政などさまざまな分野の人たちが、それぞれの立場を生かし、新しいまちの姿を考え、それを共通の基盤としてまちを創る、「共創」をまちづくりの根本とします。

2 高品質で生産性の高い公共経営を進めます

目的を常に意識し、成果を重視した行政運営を行い、また状況の変化に即応した行政活動を根本とします。

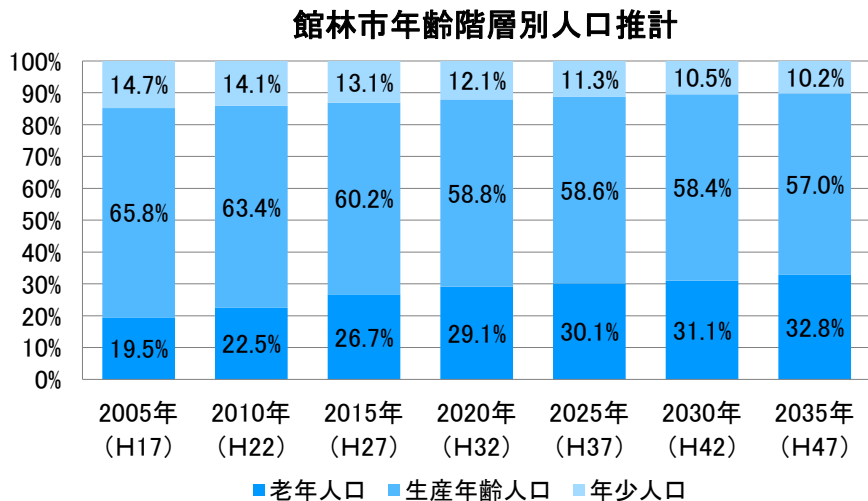
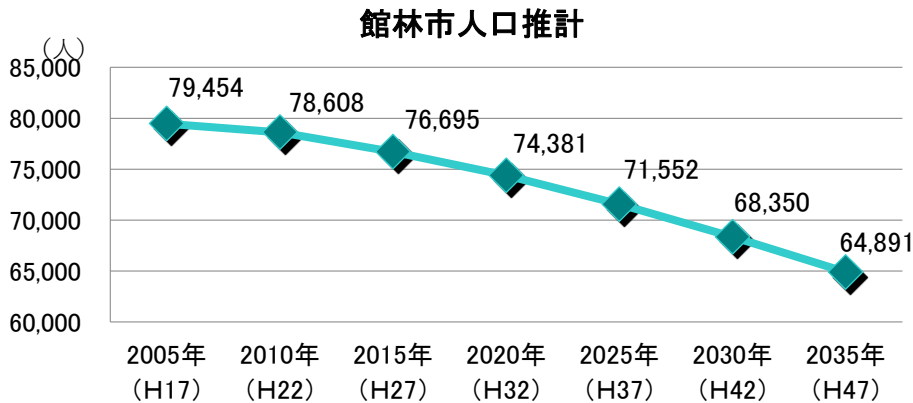
3 市域を越えた連携を強化し、ともに歩みます

将来的な行政運営を見据え、交通、経済、文化など共通の地域性を有する近隣市町や広域との連携を重視することを根本とします。

2. 計画の基本的フレーム

(1) 人口フレーム

本市の総人口は、平成21年時点では約80,000人でしたが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成32年に74,000人、平成47年には65,000人に減少すると予測されています。年齢別に見ても少子高齢化が加速し、年少人口や生産年齢人口が減少し、老年人口が増加すると見込まれています。重要事業実施計画においては、少子高齢化の進行により、財政規模の縮小が余儀なくされるなか、人々が住み続けたいと思う魅力ある都市づくりを推進するため、事業の選定においても選択と集中により事務事業を厳選し重要事業の位置付けを行いました。



【出典：国立社会保障・人口問題研究所】

(2) 財政フレーム

① 重要事業費集計表

(単位：千円)

基本構想		事業数	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計
I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち	12	983,325	995,931	1,314,335	3,293,591
II	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	12	293,808	294,131	294,584	882,523
III	心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	6	1,185,878	1,181,880	1,182,985	3,550,743
IV	子どもたちが健やかに成長できるまち	19	1,398,185	1,252,741	1,160,322	3,811,248
V	学ぶよろこびや豊かな心を育むまち	10	168,940	518,562	71,692	759,194
VI	便利で快適な住みやすいまち	19	1,435,304	2,096,872	2,091,440	5,623,616
VII	出会いと交流のある元気で活力のあるまち	23	1,647,093	1,659,449	1,674,457	4,980,999
VIII	まちづくりのしくみが整い発展できるまち	8	131,266	130,952	131,172	393,390
合計		109	7,243,799	8,130,518	7,920,987	23,295,304

②今後の財政見通し

本市は、財政健全化法に基づく指標において、健全性を維持していますが、今後、学校給食センターの建設など大規模な事業が予定されているほか、厚生病院耐震化整備やごみ処理施設建設に伴う一部事務組合への負担金の増額などにより、指標への影響が見込まれています。

また、歳出面では、防災対策などの安全安心なまちづくりをはじめ、都市基盤整備、公共施設等の老朽化対策、少子・高齢化社会への対応などの財政需要が増加する一方、歳入面では、その財源となる市税収入、国からの地方交付税や交付金などについて大幅な増収が期待できない状況です。

このような厳しい状況ではありますが、引き続き、歳出の見直しを図るとともに、市税収入などの自主財源の確保対策に努め、本計画に掲げた重要事業を着実に推進します。

◆歳入

□市税

納税者人口、市内企業の動向、地価公示価格の推移などにより税目ごとに推計し積算します。

□地方交付税

総務省が策定する「地方財政計画」の総額、本市における基準財政収入額及び基準財政需要額の推計により積算します。

□国県補助金

補助対象要件を的確に把握し、歳出を計画するなど、国県の補助制度を最大限に活用します。

□市債

後年度の公債費負担や市債残高など、財政の健全性に留意しながら、適切に市債を活用します。

◆歳出

□人件費

職員定員適正化方針を基本とし、退職者や新規採用者数を勘案し計上します。

□扶助費

現状を踏まえ、個別の事業ごとに精査し計上します。

□投資的経費

道路などの社会資本整備のほか、重要事業に掲げた事業を精査し計上します。

平成30年度 館林市一般会計予算(案)

【歳入】

(単位:千円)

区 分	予 算	構成比
市税	11,407,559	40.6%
地方交付税	2,060,000	7.3%
国・県支出金	5,393,331	19.1%
市債	2,408,200	8.6%
(うち臨時財政対策債)	1,140,000	4.1%
その他	6,855,910	24.4%
合 計	28,125,000	100.0%

【歳出】

(単位:千円)

区 分	予 算	構成比
義務的経費	11,964,271	42.6%
人件費	4,519,976	16.1%
扶助費	5,203,963	18.5%
公債費	2,240,332	8.0%
投資的経費	3,348,811	11.9%
その他	12,811,918	45.5%
合 計	28,125,000	100.0%

○第五次総合計画 重要事業一覧(平成30年度～32年度)

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち							
01 良好な環境の中で、快適に暮らすことができるまちになる							
	1	水質浄化対策事業	水質浄化対策事業	地球環境課			
	2	地球温暖化対策事業	地球温暖化対策事業	地球環境課			
	3	環境基本計画優先事業	環境ISO運用事業	地球環境課			
	4	管きよ整備事業	公共下水道整備事業 (汚水)	下水道課	下水道事業 特別会計		
02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる							
	5	館林衛生施設組合負担金	館林衛生施設組合負担金 (ごみ処理分)	地球環境課			
03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる							
04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる							
	6	幹線排水路整備事業	幹線排水路整備事業	道路河川課			
	7	住宅・建築物耐震改修等事業	住宅・建築物耐震改修等事業	建築課		一部	
	8	防災関係	防災関係事業	安全安心課		一部	○
	9	広域防災拠点整備事業	広域防災拠点整備事業	安全安心課			○
	10	国土強靱化計画策定事業	国土強靱化計画策定事業	安全安心課		○	
	11	空家対策関係	空家対策関係事業(予防対策)	安全安心課			○
	12	管きよ整備事業	公共下水道整備事業 (雨水)	下水道課	下水道事業 特別会計		

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち							
05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる							
06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる							
	13	生きがいと健康づくり推進事業	生きがいと健康づくり推進事業	高齢者支援課			
	14	高齢者在宅サービス推進事業	在宅生活支援事業ほか	高齢者支援課		一部	
	15	高齢者在宅サービス推進事業	介護慰労金支給事業	高齢者支援課			
	16	認知症総合支援事業	認知症総合支援事業	高齢者支援課	介護保険特別会計		
07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる							
	17	地域生活支援事業	地域生活支援事業ほか	社会福祉課			
	18	重症心身障がい者等短期入所支援事業	重症心身障がい者等短期入所支援事業	社会福祉課			
	19	発達障がい者支援事業	発達障がい者支援事業	社会福祉課			
08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる							
	20	生活困窮者自立支援事業	子どもの学習支援	社会福祉課			○
	21	生活保護総務	生活保護運営対策事業	社会福祉課			
	22	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業費	保険年金課	国民健康保険特別会計		
	23	保健衛生普及費	保健衛生普及費	保険年金課	国民健康保険特別会計		
	24	地域子育て見守り支援事業	子どもの居場所づくり支援事業	こども福祉課	再掲 (IV-11)	○	
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち							
09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる							
	25	健康づくり推進事業	健康づくり推進事業	健康推進課			
	26	生活習慣病予防事業	生活習慣病予防	健康推進課			○
	27	予防接種事業	予防接種	健康推進課	再掲 (IV-11)		○
10 適切な医療を受けることができるまちになる							
	28	地域医療対策事業	救急医療在宅当番医制	健康推進課			
	29	邑楽館林医療事務組合負担金	邑楽館林医療事務組合負担金	健康推進課			
	30	夜間急病診療所管理運営	夜間急病診療所運営及び施設管理	健康推進課			

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち							
11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる							
	31	地域子ども・子育て支援事業	ファミリー・サポート・センター事業	こども福祉課			○
	32	地域子ども・子育て支援事業	放課後児童健全育成事業	こども福祉課			
	33	保育園民営化事業	保育園民営化事業	こども福祉課			
	34	子どものための教育・保育施設運営 保育園運営	子どものための教育・保育施設運営 保育園一般経費	こども福祉課	第3子以降保育料無料化		
	35	地域子ども・子育て支援事業	地域子育て支援拠点事業	こども福祉課			○
	36	地域子ども・子育て支援事業	一時預かり事業	こども福祉課			
	37	地域子育て見守り支援事業	子どもの居場所づくり支援事業	こども福祉課	再掲 (Ⅱ-08)	○	
	38	母子保健対策事業	母子保健対策事業	健康推進課			○
	39	妊娠・出産包括支援事業	母子保健コーディネーター事業	健康推進課			○
	40	妊娠・出産包括支援事業	産前産後サポート事業	健康推進課			○
	41	妊娠・出産包括支援事業	産後ケア事業	健康推進課			○
	42	予防接種事業	予防接種	健康推進課	再掲 (Ⅲ-09)		○
	43	幼稚園運営	幼稚園運営	学校教育課	第3子以降保育料無料化		
	44	学校運営協議会設置事業	学校運営協議会設置事業	学校教育課		○	
12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる							
	45	教諭補助員設置事業ほか	教諭補助員設置事業ほか	学校教育課			
	46	小・中学校・幼稚園施設整備事業	小・中学校・幼稚園施設整備事業 (老朽化対策)	教育総務課			
	47	給食センター運営	給食センター運営 (食育の推進)	学校給食センター			
	48	給食センター施設整備事業	給食センター施設整備事業	学校給食センター			
	49	給食センターPFI運営事業	給食センターPFI運営事業	学校給食センター		○	

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
V 学ぶよこびや豊かな心を育むまち							
13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる							
	50	公民館運営	公民館施設整備事業	生涯学習課 (公民館)			
	51	三野谷公民館改築事業	三野谷公民館改築事業	生涯学習課 (公民館)		○	
	52	公民館学級講座開設事業	公民館学級講座開設事業	生涯学習課 (公民館)			
	53	向井千秋記念子ども科学館 ROCKET事業	向井千秋記念子ども科学館 ROCKET事業	向井千秋記念 子ども科学館		○	
14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる							
	54	市史編さん事業	市史編さん事業 (市史の刊行)	文化振興課			
	55	文化財保護管理	文化財保護管理	文化振興課			
	56	文化財保護管理	茂林寺沼及び低地湿原保護管理	文化振興課			
	57	文化会館運営	文化会館施設整備事業	文化振興課			
15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる							
	58	公園競技施設管理運営	公園競技施設の整備	スポーツ振興課			
	59	体育施設管理運営	市民体育館整備	スポーツ振興課			

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
VI 便利で快適な住みやすいまち							
16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる							
	60	地籍調査事業	地籍調査事業	農業振興課			
	61	都市計画総務	土地利用計画等決定推進事業	都市計画課		一部	○
17 まちなかににぎわいがあるまちになる							
	62	まちなか商業活性化対策	まちなか商業活性化対策 まちづくり総合支援事業	商業観光課			
	63	空家対策関係	空家対策関係事業（利活用・除却）	建築課		一部	○
18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる							
	64	公共交通整備事業	公共交通整備	安全安心課			○
	65	道路維持管理	橋梁長寿命化修繕事業	道路河川課			
	66	道路新設改良事業	道路新設改良事業 （市単独）	道路河川課			
	67	道路新設改良事業	茂林寺前駅西側区域市道整備事業	道路河川課			
	68	道のでこぼこ解消事業 （歩道整備）	道のでこぼこ解消事業 （歩道整備）	道路河川課			
	69	大手町大街道線道路改良事業	大手町大街道線道路改良事業	都市計画課			
	70	中央通り線道路改良事業	中央通り線道路改良事業	都市計画課			
	71	西部第一南地区	西部第一南土地区画整理事業	区画整理課			
	72	西部第一中地区	西部第一中土地区画整理事業	区画整理課			
	73	西部第二地区	西部第二土地区画整理事業	区画整理課			
	74	整備費	館林駅東口駅前広場施設改良事業	都市計画課			
	75	公営住宅ストック総合改善事業	公営住宅ストック総合改善事業	建築課			
19 緑の多い魅力のあるまちになる							
	76	まちなか緑化推進事業	まちなか緑化推進事業	緑のまち推進課			
	77	花と緑推進事業	花と緑推進事業	緑のまち推進課			
	78	都市公園等整備事業	都市公園等整備事業 （花山1・2号公園）	緑のまち推進課			

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
Ⅶ 出会いと交流のある元気で活力のあるまち							
20 新しい産業が起きるまちになる							
	79	企業誘致対策	企業誘致対策	産業政策課			○
	80	企業支援事業	企業支援事業	産業政策課			○
21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる							
	81	商工総務	商工総務 (住宅リフォーム・多世代同居)	産業政策課			○
	82	金券発行事業	金券発行事業	商業観光課			
	83	まちなか創業支援事業	まちなか創業支援事業	商業観光課			○
	84	たてばやし商業支援事業	たてばやし商業支援事業	商業観光課			○
	85	商業金融対策	商業金融対策	商業観光課			○
	86	工業振興対策	工業技術・技能向上対策	産業政策課			
	87	工業振興対策	工業販路拡張対策	産業政策課			
22 安定した労働環境が整っているまちになる							
	88	雇用安定対策事業	雇用安定対策事業	産業政策課			○
	89	勤労者金融対策	勤労者住宅金融対策事業ほか	産業政策課			
23 農産物を安定して提供できるまちになる							
	90	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業	農業振興課			
	91	6次産業化推進事業	6次産業化推進事業	農業振興課			○
	92	耕作放棄地再生活動推進事業	耕作放棄地再生活動推進事業	農業振興課			
	93	畜産振興対策事業	畜産振興対策事業	農業振興課			
	94	農業基盤整備促進事業	農業基盤整備促進事業ほか	農業振興課			
	95	小規模農村整備事業	小規模農村整備事業	農業振興課		○	
	96	農村地域基盤整備事業	農村地域基盤整備事業	農業振興課			
24 多くの人を訪れたい個性と魅力のあるまちになる							
	97	観光事業の推進	観光事業の推進	商業観光課			
	98	公園管理	つつじが岡公園管理事業	つつじが岡公園課			○
	99	つつじ保護育成事業	つつじ保護育成事業	つつじが岡公園課			
	100	つつじが岡ふれあいセンター運営事業	つつじが岡ふれあいセンター運営事業	つつじが岡公園課			○
	101	日本遺産登録推進事業	日本遺産登録推進事業	つつじが岡公園課		○	○

基本目的	施策目的	事業名	細事業名	担当課	備考	新規	総合戦略
Ⅷ まちづくりのしくみが整い発展できるまち							
25 まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる							
	102	市民活動推進事業	NPO・ボランティア活動支援事業	市民協働課			
	103	区行政運営	区行政運営	行政課			
26 人権尊重の意識が生活のなかに定着した住みよいまちになる							
	104	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進事業	市民協働課			
	105	人権教育促進事業	社会人権教育促進事業 (社会人権推進事業)	生涯学習課			
27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる							
	106	政策調整推進事業	政策調整推進事業	企画課			
	107	まちひとしごと創生推進事業	まちひとしごと創生推進事業	企画課			○
	108	ふるさと納税事業	ふるさと納税事業	企画課			○
28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる							
	109	広聴広報事業	広聴広報事業ほか	秘書課			

4. 重要事業実施計画の内容

— 基本目的 I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち —

◆施策目的 01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる

市民一人ひとりが自然環境の大切さや重要さを認識し、日々環境にやさしい行動に心がけ、より良好な環境が形成されているまちをめざします。

◆施策目的 02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる

ごみになるものの発生を抑制し、資源の有効活用を推進することにより、資源循環型のまちをめざします。

◆施策目的 03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる

利用者に信頼される質の高い水道サービスが安定的に供給されているまちをめざします。

◆施策目的 04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる

災害を未然に防止し、被害を最小限に抑えるため、災害の発生時には迅速・的確に対応するとともに、防犯意識や交通安全意識を高めるなど、犯罪・交通事故の起きにくいまちをめざします。

事業の内容

整理番号	1	新規・継続	継続	担当課・係	地球環境課環境保全係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	01:良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる									
予算コード	款	4	項	2	目	2	事業	10	細事業	5
事業名	水質浄化対策事業				細事業名	水質浄化対策事業				

【全体計画】

事業目的	生活排水対策としての合併処理浄化槽の普及を推進するとともに、多々良沼導水事業、啓発事業などの河川浄化対策を実施することにより、鶴生田川・城沼をはじめとする公共用水域の水質浄化を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水対策事業 単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換補助、合併処理浄化槽管理費補助としての清掃費補助 ・河川浄化対策事業 多々良沼からの導水事業、啓発事業(城沼サミット、加法師川清掃等の市民参加事業の支援、家庭でできる浄化対策の普及啓発事業)
上位・個別等 関連計画名	第二次館林市環境基本計画、生活排水処理基本計画、群馬県汚水処理計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	17,726	4,050	5,291		14	8,371
H31	16,691	4,050	5,291		14	7,336	
H32	15,749	4,050	5,291		14	6,394	
H30年度 事業内容	単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換時の補助、合併処理浄化槽の清掃費補助、多々良沼からの導水事業、河川の浮遊物処分を引続き行う。						

事業の内容

整理番号	2	新規・継続	継続	担当課・係	地球環境課環境政策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	01:良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる									
予算コード	款	4	項	2	目	2	事業	15	細事業	5
事業名	地球温暖化対策事業				細事業名	地球温暖化対策事業				

【全体計画】

事業目的	CO2をはじめとする温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー等の普及、省エネルギーの推進、ヒートアイランド対策を通じて、地球温暖化の防止及び本市の暑熱環境の改善を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策本部/同市民会議の運営 ・緑のカーテン事業 ・ミスト発生装置活用事業 ・廃食用油回収事業 ・環境啓発事業
上位・個別等 関連計画名	第二次館林市環境基本計画、第4次館林市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	2,316	0	0	0	716	1,600
	H31	2,316	0	0	0	716	1,600
	H32	2,316	0	0	0	716	1,600
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	3	新規・継続	継続	担当課・係	地球環境課環境政策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	01:良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる									
予算コード	款	4	項	2	目	2	事業	20	細事業	15
事業名	環境基本計画率先事業				細事業名	環境ISO運用事業				

【全体計画】

事業目的	環境マネジメントシステム(EMS)の運用を通じて、第二次環境基本計画の進行管理、省エネ・省資源などのエコオフィス活動の着実な推進を図り、地球環境にやさしい行政活動を推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次環境基本計画の進行管理 ・エネルギー使用量、CO2排出量等の調査、集計、報告書・中長期計画の策定等(省エネ法、温対法、群馬県温暖化防止条例、地球温暖化防止活動実行計画) ・環境マネジメントシステム内部監査 ・職員を対象とした環境研修 (外部専門機関の知識・技術を活用するため、EMS事務局機能を外部委託) ・たてばやし学校エコライフ活動
上位・個別等 関連計画名	第二次館林市環境基本計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	4,833	0	0	0	0	4,833
H31	4,833	0	0	0	0	4,833	
H32	4,833	0	0	0	0	4,833	
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム運用業務委託(省エネ法運用、温対法運用、県温暖化防止条例運用委託) ・第二次環境基本計画の進行管理ツールとしての活用 						

事業の内容

整理番号	4	新規・継続	継続	担当課・係	下水道課工務係						
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	01:良好な環境の中で、快適に暮らすことができるまちになる										
予算コード	款	1	項	1	目	3	事業	5	細事業	5	下水道事業特別会計
事業名	管きよ整備事業				細事業名	公共下水道整備事業(汚水)					

【全体計画】

事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、公共下水道汚水きよの整備を、計画的に進める。
事業概要	<p>管きよ整備事業(汚水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業認可面積 1,149ha ○整備済面積 853ha(平成28年度末) ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度整備地区 <ul style="list-style-type: none"> ・広内地区 ・岡野地区 ・駅西地区 ・赤生田地区 ・その他の地区
上位・個別等 関連計画名	館林市公共下水道事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	258,403	104,123	900	131,900		21,480
H31	200,000	80,000	1,000	109,000		10,000	
H32	200,000	80,000	1,000	109,000		10,000	

H30年度 特記事項	<p>汚水管築造工事</p> <p>広内地区 L=367m 岡野地区 L=105m 駅西地区 L=225m</p> <p>つつじが岡幹線 L=405m 防災拠点関連 L=37m</p>
---------------	---

事業の内容

整理番号	5	新規・継続	継続	担当課・係	地球環境課資源対策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	02:ごみを減らし、資源を生かすまちになる									
予算コード	款	4	項	3	目	1	事業	15	細事業	5
事業名	館林衛生施設組合負担金					細事業名	館林衛生施設組合負担金(ごみ処理分)			

【全体計画】

事業目的	館林市、板倉町、明和町の1市2町のごみを広域共同処理することを通じて、安全で安定したごみ処理を推進するとともに循環型社会の形成、環境負荷の軽減、ごみ処理の効率化を図る。
事業概要	1市2町による一般廃棄物広域共同処理事業として、広域ごみ処理施設(熱回収施設、リサイクルセンター、最終処分場)の管理運営を行う。(事業主体は、1市2町で構成する館林衛生施設組合であり、市は負担金を支出)
上位・個別等 関連計画名	一般廃棄物処理広域化実施計画
事業主体	館林衛生施設組合(ごみ処理:館林市・板倉町・明和町の1市2町で構成)

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	536,145					536,145
	H31	581,671					581,671
	H32	822,017					822,017
H30年度 特記事項	館林衛生施設組合(ごみ処理事務構成団体 館林市・板倉町・明和町)において、順次、建設を進めてきた3施設(たてばやしクリーンセンター、いたくらリサイクルセンター、めいわエコパーク)の全てが年度当初より稼働状態となる。						

事業の内容

整理番号	6	新規・継続	継続	担当課・係	道路河川課整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	8	項	3	目	2	事業	15	細事業	5
事業名	幹線排水路整備事業				細事業名	幹線排水路整備事業				

【全体計画】

事業目的	雨水の急激な流出を抑制し、排水機能を強化するため、準用河川などの排水施設を計画的に整備改修し災害を事前に防ぐ。
事業概要	1. 準用河川宮田川改修整備事業 事業延長 1,360m 事業費 約1,416,500千円 2. 宮田2号幹線排水路整備事業 事業延長 800m 事業費 約 427,500千円 3. 岡野幹線排水路整備事業 事業延長 474.2m 事業費 約 550,000千円 【総事業費】 約2,394,000千円
上位・個別等 関連計画名	西部一号線立体交差事業(群馬県)
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	84,885	10,000		46,900		27,985
H31	101,496	20,000		39,600		41,896	
H32	185,496	20,000		147,600		17,896	
H30年度 特記事項	・準用河川宮田川 護岸築造工事50 m ・宮田2号幹線排水路 調整池詳細設計・用地買収1,813㎡・搬入路整備工事 ・岡野幹線排水路 排水路整備 26 m						

事業の内容

整理番号	7	新規・継続	継続	担当課・係	建築課建築指導係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	8	項	6	目	2	事業	7	細事業	5
事業名	住宅・建築物耐震改修等事業					細事業名	住宅・建築物耐震改修等事業			

【全体計画】

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断者派遣事業 地震に強い安全で安心なまちづくりを推進するため、市民に対し地震に備える意識の向上を図り、住宅の耐震改修や建替えのための判断材料として活用してもらえよう、耐震診断を実施する。 ・木造住宅耐震改修補助事業 地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止し、本人はもとより地域社会の人々の財産を守るため、耐震改修を実施する方に補助金を交付し、耐震性の向上を図る。 ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 本事業は、耐震化を促進する施策と並行して、人命被害を減らす「減災化」を目的とした施策を促進するためのものである。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断者派遣事業 木造住宅耐震診断者による耐震性診断結果を通知する。 ・木造住宅耐震改修補助事業 耐震診断の結果倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事を行い、「一応倒壊しない」までの基準に住宅を改修した方に補助金を交付する。 ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 耐震診断の結果倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震シェルターや耐震ベッドなどの設置により圧死を防ぎ地震被害を軽減する施策を行った場合に対する補助。 <p>【事業期間】 平成28年度～平成32年度</p> <p>【総事業費】 23,325千円</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	4,745	772	600			3,373
	H31	4,745	772	600			3,373
	H32	4,745	772	600			3,373
H30年度 特記事項	昭和56年5月31日以前に着工した階数2以下で建築された戸建て木造住宅又は木造併用住宅について、無料で耐震診断を実施する。また、耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された住宅について、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事及び耐震シェルター等設置に要する費用に対し、補助を行う。						

事業の内容

整理番号	8	新規・継続	継続	担当課・係	安全安心課危機管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	9	項	1	目	4	事業	5	細事業	5
事業名	防災関係					細事業名	防災関係事業			

【全体計画】

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備え、必要な備蓄品等を購入し、防災体制の充実を図る。 ・平成21年7月27日に発生した竜巻災害を本市防災の教訓として引継ぐため、また、その記憶を風化させないため、防災講演会を実施することにより、防災意識を高め、災害の未然防止と被害の軽減を図る。 ・安全安心メール、Jアラート等の更新と稼働維持を図る。 ・新浸水想定に基づくハザードマップ作成を行ない、住民の避難対応促進を図る。 ・災害時の情報伝達体制の更なる強化を図る。 ・防災専門家からの助言により、防災対策の効果を高める。
事業概要	<p>《総合戦略事業43》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災用倉庫及び備蓄用備品等の購入 ・「館林市の防災を考える日」事業防災講演会 ・安全安心メール、Jアラート等の更新及び保守委託 ・洪水ハザードマップ作成 ・情報伝達手段の多重化の研究、調査 ・防災アドバイザー委託
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	23,013			2,000		21,013
H31	11,500					11,500	
H32	11,500					11,500	

H30年度 特記事項	<p>災害発生時に自助、共助の要となる住民の防災意識高揚、被害軽減を図るため、防災講演会の実施、ハザードマップの作成をおこなうとともに、必要な備蓄品の購入、情報伝達手段等を整備することで防災体制の充実を図る。</p> <p>また、防災専門家の助言により防災対策の効果を最大限に高める。</p>
---------------	--

事業の内容

整理番号	9	新規・継続	継続	担当課・係	安全安心課危機管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I :より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	9	項	1	目	4	事業	25	細事業	5
事業名	広域防災拠点整備事業					細事業名	広域防災拠点整備事業			

【全体計画】

事業目的	<p>「館林市地域防災計画」に基づく「災害に強いまちづくり」を更に推進するため、防災拠点を整備し危機管理体制を構築する。</p> <p>防災拠点は、災害時には本市の災害対策活動の拠点として、様々な現地活動の中核となり、平常時には、防災に関する研修や訓練の場として利用する。</p> <p>また、広域的救援活動のベースキャンプや防災・医療用ヘリポート機能を整備するとともに、負傷者の救助・受入が可能な医療施設を誘致することにより、応急医療活動の拠点として位置付けるもの。</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業44》</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間:平成27年7月～平成31年度 ・開発区域:上赤生田町・赤生田町・羽附町の一部 ・開発面積:約8.4ha <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県企業局による造成 ・医療施設の建設 ・消防本部・消防署の建設 ・緊急避難場所の整備 ・流末排水路の整備 ・上下水道の整備
上位・個別等 関連計画名	館林市地域防災計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	16,939					16,939
	H31	未定					
	H32						
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の整備 ・群馬県からの買い戻し 						

事業の内容

整理番号	10	新規・継続	新規	担当課・係	安全安心課危機管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	9	項	1	目	4	事業	35	細事業	5
事業名	国土強靱化計画策定事業				細事業名	国土強靱化計画策定事業				

【全体計画】

事業目的	大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進するもの。
事業概要	国土強靱化地域計画の策定(平成30～31年度)
上位・個別等 関連計画名	館林市地域防災計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	340					340
	H31	2,000					2,000
	H32						
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の設定 ・脆弱性の分析、評価 ・具体的な取組の検討 						

事業の内容

整理番号	11	新規・継続	継続	担当課・係	安全安心課危機管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる									
予算コード	款	8	項	6	目	1	事業	20	細事業	5
事業名	空家対策関係				細事業名	空家対策関係事業(予防対策)				

【全体計画】

事業目的	「館林市空家等対策基本計画」に基づき、空家等の老朽化・危険化の防止のため、空家等の状況把握、所有者等への意識啓発などの予防対策を図ることを目的とする。
事業概要	<p>《総合戦略事業36》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館林市空家等対策協議会及び館林市空家等対策連絡会議の運営 ・空家管理台帳システム運用 <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家管理台帳システム保守 ・空家実態調査
上位・個別等 関連計画名	館林市空家等対策基本計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	679					679
H31	3,679					3,679	
H32	679					679	
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	12	新規・継続	継続	担当課・係	下水道課工務係						
総合計画 基本構想(基本目的)	I:より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	04:災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる										
予算コード	款	1	項	1	目	3	事業	5	細事業	5	下水道事業特別会計
事業名	管きよ整備事業				細事業名	公共下水道整備事業(雨水)					

【全体計画】

事業目的	発生が懸念される集中豪雨に対しての浸水被害を防止するべく、公共下水道雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
事業概要	雨水きよ整備事業 ○認可計画総延長 16,410m ○整備済延長 12,056m (平成28年度末) ○事業内容 平成30年度 加法師1号幹線 L=70.7m 平成31年度 鶴生田左岸1号幹線、加法師1号幹線、富士西幹線 平成32年度 鶴生田左岸1号幹線、加法師1号幹線、富士西幹線
上位・個別等 関連計画名	館林市公共下水道事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	33,301	15,051		13,500		4,750
H31	67,000	30,000		27,000		10,000	
H32	67,000	30,000		27,000		10,000	

H30年度 特記事項	雨水きよ築造工事 加法師1号幹線 L=70.7m
---------------	-----------------------------

— 基本目的 II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち —

◆施策目的 05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる

市民の誰もが住みなれた地域で自立して、生きがいに満ちた生活をおくれるまちをめざします

◆施策目的 06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる

高齢者が健康で生きがいをもって自立し、豊かな暮らしを実感できるまちをめざします

◆施策目的 07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる

障がい者と健常者とがお互いを尊重しあい、自立した生活をおくることができるまちをめざします

◆施策目的 08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる

市民が一生を通じて安心して生活をおくれるよう社会保障制度の機能が十分に発揮され、突然の病気や事故、老齢などによる不安が解消される社会をめざします。

事業の内容

整理番号	13	新規・継続	継続	担当課・係	高齢者支援課高齢者支援係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	06:高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる									
予算コード	款	3	項	4	目	2	事業	10	細事業	15
事業名	生きがいと健康づくり推進事業				細事業名	生きがいと健康づくり推進事業				

【全体計画】

事業目的	高齢者が生涯はつらつと生活できるまちづくりのため、交流の場の確保や地域活動の中核組織となる団体の活動を助成する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーサロン事業補助 ・高齢者クラブ活動促進費補助 ・高齢者魅力ある地域づくり事業 ・スポーツ広場設置補助 ・通いの場運営費補助
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	8,153	0	1,704	0	0	6,449
	H31	8,448	0	1,704	0	0	6,744
	H32	8,743	0	1,704	0	0	7,039
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	14	新規・継続	継続	担当課・係	高齢者支援課高齢者支援係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	06:高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる									
予算コード	款	3	項	4	目	3	事業	13	細事業	
事業名	高齢者在宅サービス推進事業				細事業名	在宅生活支援事業ほか				

【全体計画】

事業目的	高齢者が生涯はつらつと生活できるよう、高齢者の在宅生活を支援する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報装置設置事業 ・日常生活用具給付事業(火災報知機、電磁調理器等) ・ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業 ・救急医療情報キット配付事業 ・寝具乾燥殺菌事業 ・在宅ねたきり高齢者等出張理美容サービス ・はり、きゅう、マッサージ施術助成 ・成年後見制度申立等事業 ・成年後見制度推進事業委託 ・法人後見事業補助
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	44,711		3,666		8,138	32,907
	H31	44,146		3,666		8,138	32,342
	H32	43,854		3,666		8,138	32,050
H30年度 特記事項	・館林市社会福祉協議会の法人後見事業開始に伴い補助金交付。						

事業の内容

整理番号	15	新規・継続	継続	担当課・係	高齢者支援課高齢者支援係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	06:高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる									
予算コード	款	3	項	4	目	3	事業	13	細事業	20
事業名	高齢者在宅サービス推進事業				細事業名	介護慰労金支給事業				

【全体計画】

事業目的	要介護4又は5の重度介護を必要とする高齢者が施設に入所せず1年以上にわたり在宅生活を送るにあたり、介護を行う介護者の労苦を慰労し支援する。
事業概要	・介護慰労金支給事業
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	9,926		900		0	9,026
	H31	10,376		900		0	9,476
	H32	10,826		900		0	9,926
H30年度 事業内容							

事業の内容

整理番号	16	新規・継続	継続	担当課・係	高齢者支援課地域包括ケア推進係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	06:高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる										
予算コード	款	5	項	2	目	1	事業	25	細事業	5	介護保険特別会計
事業名	認知症総合支援事業					細事業名	認知症総合支援事業				

【全体計画】

事業目的	地域包括ケアシステムの構築、推進のために地域支援事業に認知症総合支援事業が位置づけられ、平成30年4月までに配置することとされた認知症初期集中支援チームについて、認知症の人やその家族ができる限り、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、適切な支援を構築する。
事業概要	<p>〔認知症初期集中チームの役割〕 認知症に関する専門的な知識・技能を有する医師の指導のもと、複数の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人等を訪問し、情報提供、専門医療機関への受診や介護保険サービスの説明、心理的サポート等を行う。</p> <p>〔認知症初期集中チーム員〕 1チームにつき、以下の①を満たす専門職2人以上、②を満たす専門医1人の計3人以上の専門職で構成する。</p> <p>①保健師、看護師、作業療法士、歯科衛生士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士等国家資格を有し、認知症ケアや在宅ケアの実務・相談業務等に3年以上携わっている。</p> <p>②日本老年精神医学会若しくは日本認知症学会の定める専門医等で、かつ認知症サポート医である。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市高齢者いきいきプラン
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	7,371	2,835	1,418		6	3,112
	H31	7,371	2,835	1,418		6	3,112
	H32	7,371	2,835	1,418		6	3,112
H30年度 特記事項	〇つつじメンタルホスピタルに2チーム配置、市職員・地域包括支援センター職員・館林厚生病院職員により1チーム編成。						

事業の内容

整理番号	17	新規・継続	継続	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	07:障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる									
予算コード	款	3	項	1	目	2	事業	85	細事業	
事業名	地域生活支援事業				細事業名	地域生活支援事業ほか				

【全体計画】

事業目的	地域で生活する障がいのある人、子ども及びその家族の日常生活を支え、ニーズに応じた利便性の高い福祉サービス・情報を提供する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者職親事業の実施 ・相談支援事業の実施 ・移動支援事業の実施 ・福祉ホーム事業の実施 ・日中一時支援事業の実施 ・地域活動支援センター事業の実施 ・生活サポート事業の実施 ・意思疎通支援事業の実施 ・入浴サービス事業の実施 ・医療的ケア支援事業の実施 ・自動車運転免許取得費、自動車改造費補助事業の実施 ・成年後見制度利用者補助事業の実施 ・日常生活用具給付等事業の実施 ・地域生活支援事業利用者負担助成事業の実施 ・在宅血液透析患者支援事業の実施
上位・個別等 関連計画名	障害者総合支援法、館林市障がい者計画、館林市障がい福祉計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	95,639	21,951	14,856		4,147	54,685
	H31	95,639	21,951	14,856		4,147	54,685
	H32	95,639	21,951	14,856		4,147	54,685
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	18	新規・継続	継続	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	07:障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる									
予算コード	款	3	項	1	目	2	事業	110	細事業	5
事業名	重症心身障がい者等短期入所支援事業					細事業名	重症心身障がい者等短期入所支援事業			

【全体計画】

事業目的	在宅で生活する重症心身障がい者の利用できる短期入所事業を整備し、介護する家族等の負担軽減と社会参加の促進や休養の機会を提供することで、障がい者の地域に根ざした生活を支援する。
事業概要	地域の総合病院等(館林厚生病院)で、空床ベットを利用した重症心身障がい者のための短期入所を実施する。
上位・個別等 関連計画名	館林市障がい者計画、館林市障がい福祉計画
事業主体	館林市ほか邑楽郡5町

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	1,474					1,474
	H31	1,474					1,474
	H32	1,474					1,474
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	19	新規・継続	継続	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
総合計画 基本構想(基本目的)	II:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	07:障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる									
予算コード	款	3	項	1	目	2	事業	115	細事業	5
事業名	発達障がい者支援事業					細事業名	発達障がい者支援事業			

【全体計画】

事業目的	発達障がい者(児)が、安心して地域で生活していくことができるように、障がい者(児)の乳幼児期から成人期までの各ライフステージに応じた一貫した支援体制を整備し、社会全体で発達障がい者を支える仕組みを確立する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成: 早期療育等の指導者、保健師、保育士、教諭など当事者とかかわる人材を育成するため、研修・講演会を開催するとともに、各ライフステージにおける一貫した技術支援が行える指導者を養成する。 ・啓発活動: 発達障がいについて、市民や企業等の地域住民が理解を深めるための講演会を開催するとともに、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間でイベントを行う。 ・社会資源の活用: 発達に関する社会資源の円滑な活用が図れるよう、相談事業所をはじめとする関係機関におけるネットワークを整備するとともに、社会資源情報を把握し連携を図る。 ・個人データの把握: 個別支援記録が各ステージ間でスムーズに移行できるようなシステムを構築する。
上位・個別等 関連計画名	発達障害者支援法、館林市障がい者計画、館林市障がい福祉計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	10,524	232	116			10,176
H31	10,524	232	116			10,176	
H32	10,524	232	116			10,176	
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	20	新規・継続	継続	担当課・係	社会福祉課保護係					
総合計画 基本構想(基本目的)	II: 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	08: 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる									
予算コード	款	3	項	1	目	1	事業	105	細事業	15
事業名	生活困窮者自立支援事業					細事業名	子どもの学習支援			

【全体計画】

事業目的	<p>生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日に施行され、生活が困窮しているかたが生活保護に至らないよう包括的な支援を行うよう義務付けられている。</p> <p>思いやりと助けあいのある暮らしやすいまちを実現するために、生活困窮のかたが生活保護に至る前に、生活の実態やニーズを的確に把握し、早期に自立を促すことが大きな目的となっている。そのため、必須事業として相談窓口を設置し、相談支援員と就労支援員を配置し、就労能力と意欲のあるかたの自立のための適切な支援を行っている。</p> <p>新たに、生活困窮世帯の児童生徒に早期からの学習習慣の定着と進学に向けた生活困窮者自立支援法での任意事業である「子どもの学習支援」を行い、卒業後の就労機会の拡充し、貧困の連鎖の解消を図る。</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業32》</p> <p>・子どもの学習支援(国庫補助 1/2)を実施するため、シルバー人材センターの「おさらい教室」を活用し、生活保護受給世帯を含めた生活困窮世帯の児童生徒に早期からの学習習慣の定着と進学に向けた学習支援を行い、高校卒業後の就労機会の拡充を図り、貧困の連鎖の解消を図る。</p> <p>※月謝(4,500円)及びテキスト代(年2,000円)を補助する。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	3,360	1,680				1,680
	H31	3,360	1,680				1,680
	H32	3,360	1,680				1,680
H30年度 特記事項	シルバー人材センターの「おさらい教室」に、小学生対象の「国語・算数」に加え、新たに中学生を対象とした「英語」を実施。						

事業の内容

整理番号	21	新規・継続	継続	担当課・係	社会福祉課保護係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	08:互いに助けあい、安心して生活できるまちになる									
予算コード	款	3	項	3	目	1	事業	5	細事業	10
事業名	生活保護総務			細事業名	生活保護運営対策事業					

【全体計画】

事業目的	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまちを実現するために、保護が必要なかたに対し、生活の実態やニーズを的確に把握し、困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障したうえで自立を助長することが大きな目的となっている。そのため、就労支援員を配置し、就労能力と意欲のあるかたの自立のため適切な支援を行う。また、生活保護相談のかたの生活実態などの把握を行う面接相談員及び警察OBの生活保護支援員を配置し、初期段階での適切な相談支援を行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護等について相談が増加しているため、面接相談員を配置(国庫補助 3/4)し、相談者に対してきめ細かな相談支援を実施し自立を助長する。 中高年(40～60歳代)の失職に伴う生活保護受給者が増加しているため、就労支援員を配置(国庫補助 3/4)し、きめ細かな就労支援を実施し自立を助長する。 生活保護扶助費のほぼ1/2を占める医療扶助に関し、診療報酬明細の点検を細かに実施することにより医療の適正化に努める。 生活保護受給者が増加しているなか、生活保護支援員を配置(国庫補助 3/4)し、不正受給の防止と窓口業務の効率化を図る。 受給者に関する調査活動を充実し、不正受給を防止する。 社会福祉法に定める社会福祉主事任用資格の未取得者に、通信授業等により、資格を取得させる。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	12,695	6,462	104		9	6,120
	H31	12,613	6,462			9	6,142
	H32	12,613	6,462			9	6,142
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援事業(国庫負担3/4)を平成30年度も継続実施し、就労支援員(嘱託)を1名雇用する。 診療報酬明細書点検等充実事業(国庫補助3/4)を平成30年度も継続実施し、レセプト点検員(臨時職員)を1名雇用する。 体制整備強化事業(国庫補助3/4)を平成30年度も継続実施し、面接相談員(嘱託)1名を雇用する。 警察との連携協力体制強化事業(国庫補助3/4)を平成30年度も継続実施し、生活保護支援員(嘱託)を1名雇用する。 社会福祉法に定める社会福祉主事任用資格の未取得者に、通信事業等により、資格を取得させる。 						

事業の内容

整理番号	22	新規・継続	継続	担当課・係	保険年金課国保係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	08:互いに助けあい、安心して生活できるまちになる										
予算コード	款	6	項	1	目	1	事業	5	細事業	5	国民健康保険特別会計
事業名	特定健康診査等事業費				細事業名	特定健康診査等事業費					

【全体計画】

事業目的	国民健康保険被保険者のメタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発生及び重症化を未然に予防し、生活習慣の改善を図る。
事業概要	特定健康診査の実施 特定保健指導の実施
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	69,489		20,484		5	49,000
	H31	70,000		20,495		5	49,500
	H32	70,000		20,495		5	49,500
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	23	新規・継続	継続	担当課・係	保険年金課国保係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅱ:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	08:互いに助けあい、安心して生活できるまちになる										
予算コード	款	6	項	2	目	1	事業	5	細事業	5	国民健康保険特別会計
事業名	保健衛生普及費					細事業名	保健衛生普及費				

【全体計画】

事業目的	国民健康保険被保険者の健康維持、疾病の早期発見、早期治療を図る。
事業概要	短期人間ドック検診の実施 受診医療費の通知 電話健康相談事業
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	30,286					30,286
	H31	30,000					30,000
	H32	30,000					30,000
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	24	新規・継続	新規	担当課・係	こども福祉課子育て支援係					
総合計画 基本構想(基本目的)	II:思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち ※IVに再掲									
総合計画 基本計画(施策目的)	08:互いに助けあい、安心して生活できるまちになる ※11に再掲									
予算コード	款	3	項	2	目	1	事業	10	細事業	15
事業名	児童福祉総務				細事業名	子どもの居場所づくり支援事業				

【全体計画】

事業目的	平成29年3月に行なった「子どもの生活実態調査」の分析の結果、さまざまな理由により、困っている子どもとその保護者がいることがわかった。 すべての子どもが夢と希望を持って成長していける社会を実現するため、支援が必要な家庭に必要な支援を確実に届けるためのネットワークの構築を図り、子どもの居場所づくりの取組がより多くの地域で継続的に行われるよう体制づくりを目指します。 子どもの居場所;学習支援・食事支援・悩み等相談支援等を行う。
事業概要	H30 【子どもの居場所づくり支援事業】 子どもの居場所づくり推進フォーラム開催 ①基調講演②パネルディスカッション③ワークショップ(分科会) 目的:地域全体の参画により推進するため、参加型のフォーラムを開催し、子どもの居場所の役割と普及のための周知啓発を図り、地域の支援ネットワーク構築を目指す。 (報償費、印刷製本費、使用料及び賃借料) H31 第2回子どもの居場所づくり推進フォーラム開催(新たに取り組んだ団体や個人によるシンポジウム) H32 第3回子どもの居場所づくり推進フォーラム開催(市民団体ネットワークの構築)
上位・個別等 関連計画名	市長政策目標「子育てする家庭を応援する」 子供の貧困対策に関する大綱/群馬県子どもの貧困対策推進計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	180					180
	H31	180					180
	H32	180					180
H30年度 特記事項	※庁内関係各課(市民協働課及び教育委員会各課)との連携						

— 基本目的 III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち —

◆施策目的 09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる

市民一人ひとりが真に豊かな暮らしを実感していきいきとした活動をするため、疾病予防や健康回復を心がけ、すべての市民が心身ともに健康なまちをめざします

◆施策目的 10 適切な医療を受けることができるまちになる

すべての市民が安心して生活をおくれるよう、病院・診療所が身近にあり適切な医療を受けられるとともに、緊急の事故や病気の際にも速やかに医療を受けることができるまちをめざします。

事業の内容

整理番号	25	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課健康づくり係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	09:地域全体で健康づくりに取り組むまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	20	細事業	5
事業名	健康づくり推進事業				細事業名	健康づくり推進事業				

【全体計画】

事業目的	健康の維持・増進に関する啓発活動や健康づくりを実践する個人や団体等への支援を通じて、市民の健康意識の向上及び健康寿命の延伸を図り、「自分の健康は自分で守る」という自主的な健康づくりを推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり計画「健康たてばやし21」の3次計画の推進 ○健康寿命延伸プラットフォームによる活動 <ul style="list-style-type: none"> ・構成員による会議の開催 ・市民を対象としたシンポジウムの開催 ○健康づくり推進協議会による健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進大会の開催 ○健康づくりの啓発事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催(健康まつり・健康展) ・関係各課協働の健康づくり事業の紹介 ・健康マイレージポイント事業の推進 ・健康づくり活動団体表彰 ○地域に根差した健康づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員協議会による各種食育推進事業 ・健康づくり自主活動グループの育成支援 ・地域の健康増進支援事業(糖尿病予防活動)
上位・個別等 関連計画名	健康日本21(2次)、群馬県健康増進計画(元気県ぐんま)2次、館林市健康づくり計画(健康たてばやし21)3次、食育推進基本計画(3次)、群馬県食育推進計画(ぐんま食育こころプラン)3次
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	2,546					2,546
	H31	2,600					2,600
	H32	2,600					2,600
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸を目指し、健康づくりの啓発事業の強化 ・健康づくり施策関係各課の連携の強化及び協働事業の実施 ・地域での健康づくり活動の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 地域での健康教育の実施 食生活改善推進員協議会活動の強化 						

事業の内容

整理番号	26	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課健康づくり係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	09:地域全体で健康づくりに取り組むまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	25	細事業	33
事業名	生活習慣病予防事業				細事業名	生活習慣病予防				

【全体計画】

事業目的	各種保健事業の実施により、生活習慣病の発症予防や重症化予防に努め、市民の健康寿命の延伸を図る。
事業概要	<p>≪総合戦略事業41≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康手帳の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の健診結果や医療機関の受診状況等を記録し、健康管理や健康づくり意識を高めてもらう目的で、健診受診時等に健康手帳配付。 ○健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、イベント等による健康情報の周知や各種健康教室の開催により、疾病の予防や重症化予防の知識普及を図る。 ○健康相談 <ul style="list-style-type: none"> ・病態別健康相談や総合健康相談を公民館や保健センター等で開催し、個別相談により健康に関する不安の解消を図る。 ○健康診査及びがん検診 <ul style="list-style-type: none"> ・各種健康診査やがん検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。 ・健診の受診後に保健指導を実施し、疾病の予防や重症化予防に努める。 ○訪問指導 <ul style="list-style-type: none"> ・健診の要精検者や健診結果でフォローが必要な方に、訪問や電話等で受診勧奨や保健指導を実施する。
上位・個別等 関連計画名	群馬県保健医療計画、がん対策推進基本計画(2次)、群馬県がん対策推進計画、健康日本21(2次)、群馬県健康増進計画(元気県ぐんま)2次、館林市健康づくり計画(健康たてばやし21)3次、群馬県歯科口腔保健推進計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	117,582	699	4,238		6,702	105,943
H31	120,000	2,300	5,050		7,100	105,550	
H32	121,000	2,350	5,100		7,200	106,350	
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・検診未受診者や精密検査未受診者への受診勧奨 ・地区診断の結果により、地区を限定した健康教育・訪問指導等の強化 						

整理番号	27	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち				※Ⅳに再掲					
総合計画 基本計画(施策目的)	09:地域全体で健康づくりに取り組むまちになる				※11に再掲					
予算コード	款	4	項	1	目	5	事業	5	細事業	5
事業名	予防接種事業				細事業名	予防接種				

【全体計画】

事業目的	予防接種を行い、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業概要	<p>《総合戦略事業33》</p> <p>B型肝炎ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、四種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ)ワクチン、不活化ポリオワクチン、二種混合(ジフテリア、破傷風)ワクチン、BCGワクチン、麻しん風しん混合ワクチン、水痘(水ぼうそう)ワクチン、日本脳炎ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者インフルエンザワクチン、高齢者用肺炎球菌ワクチン等の各種予防接種を実施する。また、ロタワクチン・大人の風しんワクチン・高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を行う。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	226,798					226,798
	H31	230,180					230,180
	H32	230,180					230,180
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の人口増により、高齢者用肺炎球菌予防接種委託料増額 ○ロタワクチン接種費用助成は、申請者数の増加により増額 ○医師会から委託単価の増額要求あり 						

事業の内容

整理番号	28	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課地域医療係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	10:適切な医療を受けることができるまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	2	事業	5	細事業	10
事業名	地域医療対策事業				細事業名	救急医療在宅当番医制				

【全体計画】

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・館林市邑楽郡医師会の協力のもと、休祝日における救急医療患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を指導する。 ・館林邑楽歯科医師会の協力のもと、歯科救急医療患者に対し、館林邑楽歯科保健医療センターにて休祝日救急歯科診療等を行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会(休祝日に当番医制で診療に当たる) 診療時間:9時～17時(内科、外科)、9時～13時(耳鼻科) ・歯科医師会(休祝日に診療に当たる) 診療時間:9時～12時(受付:11時30分まで)、13時～15時(受付:14時30分まで)
上位・個別等 関連計画名	群馬県保健医療計画、群馬県医療費適正化計画
事業主体	

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	5,648				2,895	2,753
	H31	5,648				2,895	2,753
	H32	5,648				2,895	2,753
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	29	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課地域医療係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	10:適切な医療を受けることができるまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	2	事業	10	細事業	5
事業名	邑楽館林医療事務組合負担金				細事業名	邑楽館林医療事務組合負担金				

【全体計画】

事業目的	<p>信頼、安心 すべては、患者さんのために</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす 2 チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する 3 地域医師と共助し、住民の健康を支える病院となる <p>3つの基本方針にいつも患者の権利を尊重して、最善の医療を提供するための運営費として負担金を計上する。</p>
事業概要	<p>本事業は、地域医療を支える中核病院の運営費等を負担しているものである。病院の診療科としては、内科を始め、歯科口腔外科まで、20の診療科が開設され、各診療科間での連携を密に行っている。</p> <p>また、検診部門には「人間ドック」及び「脳ドック」を備え、検査結果に疑わしきものがある場合、直ちに専門医の診察が受けられることが特徴である。</p> <p>なお、館林市邑楽郡医師会加入の医師や近隣の病院とも連携を密にしており、紹介患者優先診療を行うとともに、地域の開業医への「逆紹介」も積極的に行っている。</p>
上位・個別等 関連計画名	群馬県保健医療計画、群馬県医療費適正化計画
事業主体	邑楽館林医療事務組合(館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町で構成)

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	807,434					807,434
	H31	798,320					798,320
	H32	798,320					798,320
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	30	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課地域医療係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅲ:心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	10:適切な医療を受けることができるまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	7	事業	5	細事業	5
事業名	夜間急病診療所管理運営				細事業名	夜間急病診療所運営及び施設管理				

【全体計画】

事業目的	地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供する。
事業概要	館林市邑楽郡医師会協力のもと、次のとおり診療を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・診療科目:内科、小児科 ・診療時間:19時～22時 ・診察日:月曜日～土曜日(祝日、年末年始を除く)
上位・個別等 関連計画名	群馬県保健医療計画、群馬県医療費適正化計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	25,870				8,473	17,397
	H31	25,432				8,473	16,959
	H32	25,437				8,473	16,964
H30年度 特記事項							

— 基本目的 IV 子どもたちが健やかに成長できるまち —

◆施策目的 1.1 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる

次代を担う子どもたちが、地域社会の見守りのなかで明るく元気に育まれるまちをめざします

◆施策目的 1.2 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる

子どもたちが豊かな心とたくましさを身につけ、これからの社会を担うための人間として成長できるまちをめざします

事業の内容

整理番号	31	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課子育て支援係						
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる										
予算コード	款	3	項	2	目	1	事業	32	細事業	5	
事業名	地域子ども・子育て支援事業					細事業名	ファミリー・サポート・センター事業				

【全体計画】

事業目的	子育て家庭の援助及び地域における相互援助活動による子育て支援を行う、館林市ファミリー・サポート・センター事業を実施することにより、仕事と家庭の両立を支援し、安心して子育てができるための環境づくりを推進し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。
事業概要	<p>《総合戦略事業31》</p> <p>「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」で構成する会員組織であって、その育児に関する相互援助活動の調整を行う事業。</p> <p>(相互援助活動の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設等の開始前、終了後の児童預かり、保育施設等への児童の送迎 ・病児・病後児の預かり、病児・病後児の医療機関への受診 ・会員が冠婚葬祭や病気、外出時の児童の預かり ・その他、会員のため、必要と認められる育児援助の実施 <p>(補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯が就労支援のため援助活動を受けた場合の利用料一部助成
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画、たてばやし男女共同参画プランV
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	5,013	1,520	1,520			1,973
H31	5,013	1,520	1,520	1,520			1,973
H32	5,013	1,520	1,520	1,520			1,973
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	32	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課保育係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	3	項	2	目	1	事業	32	細事業	35
事業名	地域子ども・子育て支援事業				細事業名	放課後児童健全育成事業				

【全体計画】

事業目的	<p>保護者が労働等により昼間家庭に居ない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的とする。</p> <p>また、放課後児童クラブ利用希望の低所得者への保育料補助をすることで、利用者の負担軽減を図り、仕事と子育ての両立を支援する。</p>
事業概要	<p>・各学校区に一か所以上の児童クラブを設置、社会福祉法人・NPO法人・保護者会等に事業を委託し、放課後児童の健全育成を実施する。</p> <p>・放課後児童クラブの利用者からの申請により、毎月の保育料の一部を補助することで、低所得者への保育料軽減を図る。</p> <p>【補助金月額】 ※月額3,000円を限度とする。</p> <p>(1) 在籍する年度の市町村民税が非課税の世帯 児童クラブの定める保育料の2割</p> <p>(2) (1)に属する母子等の世帯 児童クラブの定める保育料の3割</p> <p>(3) 在籍する年度の市町村民税が均等割のみ課税の世帯 児童クラブの定める保育料の1割</p> <p>(4) (3)に属する母子等の世帯 児童クラブの定める保育料の2割</p> <p>※月額3,000円を限度とする。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	2,550					2,550
	H31	2,550					2,550
	H32	2,550					2,550
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	33	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課保育係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	3	項	2	目	3	事業		細事業	
事業名	公立保育園民営化事業				細事業名					

【全体計画】

事業目的	<p>保育サービスの向上、財政の効率化、民間活力の導入の目的を達成するため、「館林市立保育園民営化検討委員会」による提言書を受けて、平成31年度を目標に公立保育園の民営化を推進してきました。</p> <p>しかし、現在の「子育て」を取り巻く環境は、女性の社会参画やひとり親世帯の増加など社会情勢の変化に伴う保育需要の増加による保育園の待機児童問題と、急速に進む少子化に伴い園児が減少する幼稚園の定員割れ問題の二つの問題が発生しています。</p> <p>そこで、これまでの行政改革を図る公立保育園の民営化と同時に、保育園の待機児童を幼稚園の既存施設でまかなえることから、幼稚園の余った定員に保育園の待機児童を充てることができ、また、保護者の就労に関わらず、就学前のこどもに教育・保育を一体的に行うことができるこども園への移行も視野に入れた事業計画を図るものです。</p>
事業概要	<p>【H30】</p> <p>平成32年度からの次期「こども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、子育てをする家庭の意見を聞きながら、公立施設の民営化・認定こども園化を検討する。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30						0
	H31						0
	H32						0
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	34	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課保育係						
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる										
予算コード	款	3	項	2	目	2・3	事業		細事業		
事業名	子どものための教育・保育施設運営 保育園運営				細事業名	(第3子以降保育料無料化) 子どものための教育・保育施設運営 保育園一般経費					

【全体計画】

事業目的	特定教育・保育施設(子ども・子育て支援新制度に移行した保育園・幼稚園・認定こども園等)を利用する第3子以降の児童の保育料を無料化し、保護者の負担軽減の拡大を図る
事業概要	<p>保育料の減免等については、徴収金(保育料)算定基準によって実施しており、同一世帯から2人以上の就学前児童が保育園や幼稚園、認定こども園、特別支援学校の幼稚部、情緒障害児短期治療施設等に入所又は利用している世帯については、2人目は半額、3人目については無料となっておりますが、これまで、3人の子どもが同時入園している場合と限られております。</p> <p>本事業では、対象児童を同時入園でなくても同一世帯で扶養する18歳未満の児童の3人目以降の児童が特定教育・保育施設を利用した場合に拡大し、当該施設を利用する第3子以降の児童の保育料を無料化する。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	63,808		10,898			52,910
	H31	63,808		10,898			52,910
	H32	63,808		10,898			52,910
H30年度 特記事項	同一世帯で扶養する18歳未満の児童の3人目以降の児童が特定教育・保育施設(子ども・子育て支援新制度に移行した保育園・幼稚園・認定こども園等)を利用した場合に、その児童の保育料を無料化する。						

事業の内容

整理番号	35	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課保育係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	3	項	2	目	1・3	事業		細事業	
事業名	地域子ども・子育て支援事業				細事業名	地域子育て支援拠点事業				

【全体計画】

事業目的	次世代を担う子どもたちが、地域社会の見守りのなかで明るく元気に育まれるよう、子育て中の親子に対し、気軽に相談や交流ができる場の提供のほか、育児に関する情報の発信や育児相談、子育てサークル支援等を地域ごとに行い、安心して家庭で保育ができるよう支援する。
事業概要	<p>《総合戦略事業27》</p> <p><input type="checkbox"/> 私立保育園【3・2・1】 聖ルカ保育園地域子育て支援センター ももの木保育園地域子育て支援センター</p> <p><input type="checkbox"/> 館林市総合福祉センター【3・2・1】 地域子育て支援センターわくわくらんど（H28～）</p> <p><input type="checkbox"/> 公立保育園【3・2・3】 長良保育園地域子育て支援センター 美園保育園地域子育て支援センター</p> <p>地域の子育て家庭に対する育児相談、指導及び地域の子育てサークル等への支援を保育園の持つ子育て機能を生かして実施する。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	34,448	12,604	12,604		13	9,227
	H31	34,448	12,604	12,604		13	9,227
	H32	34,448	12,604	12,604		13	9,227
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	36	新規・継続	継続	担当課・係	こども福祉課保育係						
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる										
予算コード	款	3	項	2	目	1・3	事業		細事業		
事業名	地域子ども・子育て支援事業				細事業名	一時預かり事業					

【全体計画】

事業目的	保護者のやむを得ない事情により、または心理的・身体的負担を軽減するため、保育園等に入園していない児童を一時的に保護養育することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。
事業概要	<input type="checkbox"/> 市内私立認定こども園・幼稚園【3・2・1】 認定富士こども園 <input type="checkbox"/> 広域入所公私立認定こども園・幼稚園【3・2・1】 まきば幼稚園ほか 新制度に移行した幼稚園等に在籍する園児を教育時間の前後等に一時的に預かる。 <input type="checkbox"/> 市内公立保育園【3・2・3】 渡瀬保育園 成島保育園 専業主婦家庭等の育児疲労の解消、断続的又は短時間勤務等の勤務形態の多様化及び急病等に伴う一時的な保育需要に対応した保育を行なう。
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援事業計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	13,415	2,968	2,968		3,206	4,273
	H31	13,415	2,968	2,968		3,206	4,273
	H32	13,415	2,968	2,968		3,206	4,273
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	37	新規・継続	新規	担当課・係	こども福祉課子育て支援係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち				※Ⅱに再掲					
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる				※08に再掲					
予算コード	款	3	項	2	目	1	事業	10	細事業	15
事業名	児童福祉総務				細事業名	子どもの居場所づくり支援事業				

【全体計画】

事業目的	平成29年3月に行なった「子どもの生活実態調査」の分析の結果、さまざまな理由により、困っている子どもとその保護者がいることがわかった。 すべての子どもが夢と希望を持って成長していける社会を実現するため、支援が必要な家庭に必要な支援を確実に届けるためのネットワークの構築を図り、子どもの居場所づくりの取組がより多くの地域で継続的に行われるよう体制づくりを目指します。 子どもの居場所;学習支援・食事支援・悩み等相談支援を行う。
事業概要	H30 【子どもの居場所づくり支援事業】 子どもの居場所づくり推進フォーラム開催 ①基調講演②パネルディスカッション③ワークショップ(分科会) 目的:地域全体の参画により推進するため、参加型のフォーラムを開催し、子どもの居場所の役割と普及のための周知啓発を図り、地域の支援ネットワーク構築を目指す。 (報償費、印刷製本費、使用料及び賃借料) H31 第2回子どもの居場所づくり推進フォーラム開催(新たに取り組んだ団体や個人によるシンポジウム) H32 第3回子どもの居場所づくり推進フォーラム開催(市民団体ネットワークの構築)
上位・個別等 関連計画名	市長政策目標「子育てする家庭を応援する」 子供の貧困対策に関する大綱/群馬県子どもの貧困対策推進計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	180					180
	H31	180					180
	H32	180					180
H30年度 特記事項	※庁内関係各課(市民協働課及び教育委員会各課)との連携						

事業の内容

整理番号	38	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	15	細事業	5
事業名	母子保健対策事業			細事業名	母子保健対策事業					

【全体計画】

事業目的	(1)母性並びに乳幼児の健康の確保及び増進 (2)地域における子育て支援の充実
事業概要	<p>(1)母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠を望む妊婦に対する不妊治療費助成<<総合戦略事業28・29>> (一般不妊・特定不妊・男性不妊・不育症に対して治療費助成) ※平成28年度から男性不妊治療費助成開始 ・妊婦及び乳幼児の疾病の予防と早期発見 (乳幼児健康診査、妊婦健康診査、健康相談、保健指導等) ※平成29年度から3歳児健診に眼科屈折検査導入 ※平成30年度から新生児聴覚検査医療機関委託・助成開始 ・育児不安者や要支援者への支援 (家庭訪問、発達相談、育児支援相談、未熟児養育医療給付) ・歯科保健対策 (歯科健診、歯みがき指導、予防処置(フッ化物塗布)等) ・妊娠・出産・育児に関する知識の普及 (ママパパ学級、離乳食教室、幼児食教室等) <p>(2)地域における子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進員の育成と活動支援 (乳児全戸訪問事業、地域と行政をつなぐ相談活動) ・子育て支援関係機関との連携 (子育て支援センター、保育園等との連携したサービスの提供)
上位・個別等 関連計画名	子ども・子育て支援事業計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	72,557	2,769	1,602		126	68,060
	H31	75,223	3,254	2,004		126	69,839
	H32	75,148	3,254	2,004		126	69,764
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	39	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	17	細事業	5
事業名	妊娠・出産包括支援事業				細事業名	母子保健コーディネーター事業				

【全体計画】

事業目的	全国的な少子化傾向のなか、本市においても出生数は減少の一途をたどっている。また、地域の中核病院である館林厚生病院においては、平成17年度から医師の引き上げにより産科が休診に、平成21年度からは小児科の入院患者の受入れができない状態となっている。特に、産科については、現在市内で分娩を取り扱うのは1医院のみとなり、市民アンケート調査からも、出産や育児に対する不安や不満が高いことが示され、「安心して産み育てられるまちづくり」は喫緊の課題といえる。そこで、周産期の妊産婦や乳児に対する支援を重要事項と捉え、本市が安心して産み育てられるまちになるため、妊娠から出産・子育てまでの切れ目ない支援を行うことを目的とする。
事業概要	<p>《総合戦略事業24》 保健師1名を母子保健コーディネーターとして配置し、様々な機関の関係者との連携・情報の共有を図り、妊娠期から子育て期までワンストップで支援を行っている。</p> <p>【主な業務内容】 ①妊産婦や家族の支援ニーズを踏まえた情報提供 ②複数のサービスを利用し、かつ、継続的な支援を必要とする場合に、関係機関と調整し必要な支援につなぐ ③必要に応じて、定期的なフォロー</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	4,486	1,495	1,495			1,496
	H31	4,583	1,527	1,527			1,529
	H32	4,583	1,527	1,527			1,529
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	40	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	17	細事業	10
事業名	妊娠・出産包括支援事業				細事業名	産前産後サポート事業				

【全体計画】

事業目的	全国的な少子化傾向のなか、本市においても出生数は減少の一途をたどっている。また、地域の中核病院である館林厚生病院においては、平成17年度から医師の引き上げにより産科が休診に、平成21年度からは小児科の入院患者の受入れができない状態となっている。特に、産科については、現在市内で分娩を取り扱うのは1医院のみとなり、市民アンケート調査からも、出産や育児に対する不安や不満が高いことが示され、「安心して産み育てられるまちづくり」は喫緊の課題といえる。そこで、周産期の妊産婦や乳児に対する支援を重要事項と捉え、本市が安心して産み育てられるまちになるため、妊娠から出産・子育てまでの切れ目ない支援を行うことを目的とする。
事業概要	<p>《総合戦略事業25》</p> <p>保健師・助産師・看護師等による相談支援、シニア世代による支援、産前産後サポーターによる家事援助、必要な情報を配信するメール配信事業等により、妊産婦の孤立感の解消を図る。</p> <p>(1) 妊娠中・出産後28日までの全戸訪問 (2) 産前産後サポーター派遣事業 (3) 子育て支援モバイルサービス事業 (4) 初孫教室 (5) 子育て応援冊子配布事業</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	3,095	146	0		0	2,949
H31	3,512	146	0		0	3,366	
H32	3,664	146	0		0	3,518	
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	41	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	4	項	1	目	3	事業	17	細事業	15
事業名	妊娠・出産包括支援事業				細事業名	産後ケア事業				

【全体計画】

事業目的	全国的な少子化傾向のなか、本市においても出生数は減少の一途をたどっている。また、地域の中核病院である館林厚生病院においては、平成17年度から医師の引き上げにより産科が休診に、平成21年度からは小児科の入院患者の受入れができない状態となっている。特に、産科については、現在市内で分娩を取り扱うのは1医院のみとなり、市民アンケート調査からも、出産や育児に対する不安や不満が高いことが示され、「安心して産み育てられるまちづくり」は喫緊の課題といえる。そこで、周産期の妊産婦や乳児に対する支援を重要事項と捉え、本市が安心して産み育てられるまちになるため、妊娠から出産・子育てまでの切れ目ない支援を行うことを目的とする。
事業概要	<p>《総合戦略事業26》</p> <p>出産直後の産婦の健康面の悩みや育児への不安などを軽減するため、助産師により心身のケアや休養等の支援を行う。</p> <p>■支援内容</p> <p>①産婦の母体の管理及び生活面の指導に関する事。</p> <p>②授乳や必要に応じた乳房ケア等母乳育児指導に関する事。</p> <p>③沐浴等の育児指導に関する事。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	8,556	4,278	0		0	4,278
	H31	8,556	4,278	0		0	4,278
	H32	8,556	4,278	0		0	4,278

H30年度 特記事項	<p>出産直後の産婦の健康面の悩みや育児への不安などを軽減するため、館林厚生病院と鈴木助産院(太田市)にて、助産師により心身のケアや休養等の支援を行う。年々利用必要者は多くなっている。平成30年度は実績に基づき増額要求。</p> <p>■支援内容</p> <p>①産婦の母体の管理及び生活面の指導に関する事。</p> <p>②授乳や必要に応じた乳房ケア等母乳育児指導に関する事。</p> <p>③沐浴等の育児指導に関する事。</p>
---------------	--

事業の内容

整理番号	42	新規・継続	継続	担当課・係	健康推進課母子保健係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち ※Ⅲに再掲									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる ※09に再掲									
予算コード	款	4	項	1	目	5	事業	5	細事業	5
事業名	予防接種事業			細事業名	予防接種					

【全体計画】

事業目的	予防接種を行い、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業概要	<p>《総合戦略事業33》</p> <p>B型肝炎ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、四種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ)ワクチン、不活化ポリオワクチン、二種混合(ジフテリア、破傷風)ワクチン、BCGワクチン、麻しん風しん混合ワクチン、水痘(水ぼうそう)ワクチン、日本脳炎ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者インフルエンザワクチン、高齢者用肺炎球菌ワクチン等の各種予防接種を実施する。また、ロタワクチン・大人の風しんワクチン・高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を行う。</p>
上位・個別等 関連計画名	館林市子ども・子育て支援計画、健康たてばやし21
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	226,798					226,798
	H31	230,180					230,180
	H32	230,180					230,180
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の人口増により、高齢者用肺炎球菌予防接種委託料増額 ○ロタワクチン接種費用助成は、申請者数の増加により増額 ○医師会から委託単価の増額要求あり 						

事業の内容

整理番号	43	新規・継続	継続	担当課・係	学校教育課学事係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	4	目	1	事業	10	細事業	5
事業名	幼稚園運営			細事業名	幼稚園運営(第3子以降保育料無料化)					

【全体計画】

事業目的	公立幼稚園を利用する第3子以降の園児の保育料を無料にし、保護者の負担軽減の拡大を図る。
事業概要	同一世帯で扶養する18歳未満の子どもで3人目以降の園児が幼稚園を利用した場合、保育料を無料にするもの。 平成30年度～ 13,260千円 対象者65人×17,000円×12ヶ月=13,260千円)
上位・個別等 関連計画名	館林市次世代育成支援行動計画後期計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	13,260					13,260
	H31	13,260					13,260
	H32	13,260					13,260
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	44	新規・継続	新規	担当課・係	学校教育課指導係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	11:子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	1	目	3	事業	60	細事業	5
事業名	学校運営協議会設置事業				細事業名	学校運営協議会設置事業				

【全体計画】

事業目的	<p>家庭や地域の教育力が以前に比べて低下しており、学校がそれらの教育機能を補完しなければならぬ状況にある。その解決のためには、子どもの健やかな成長に対する家庭・地域・学校の三者の役割分担について再度確認し、子どもを取り巻く様々な問題の解決に向けて、家庭・地域・学校は相互に連携を強め、三者一体となった取組を進める必要がある。そこで、地域の教育力を学校運営に生かしていくため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入し、学校が地域住民や保護者と教育目標を共有し、組織的・継続的な連携を図れるようにする。</p>
事業概要	<p><30年度> ○館林市教育委員会として「学校運営協議会設置校」(いわゆるコミュニティ・スクール、以下CS)を指定する。(館林市立小学校の内、モデル校として1校) ・学校運営協議会委員12名を指定する。 ・CSディレクター(地域人材)を1名配置する。</p> <p><31年度> ○「学校運営協議会設置校」を市内3校程度に増やす。 ・学校運営協議会委員12名×3校を指定する。 ・CSディレクター(地域人材)を1名×3校配置する。</p> <p><32年度> ○「学校運営協議会設置校」を市内5校程度に増やす。 ・学校運営協議会委員12名×5校を指定する。 ・CSディレクター(地域人材)を1名×5校配置する。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	589				1	588
	H31	1,748				3	1,745
	H32	2,912				5	2,907
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	45	新規・継続	継続	担当課・係	学校教育課学事係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	12:心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	2・3	目	1	事業	25・45	細事業	5
事業名	教諭補助員設置事業ほか				細事業名	教諭補助員設置事業ほか				

【全体計画】

事業目的	<p>小中学校で児童生徒へのきめ細かな学習指導や生活指導の支援が行われるよう、教諭補助員を計画的に配置し、指導体制の充実を図る。</p> <p>また、近年学校を取り巻く状況は特別支援学級での指導の充実、通級指導を要する対象者の増加、重度の障害や重複障がい等を有する児童生徒の受け入れなどにより大きく変化している。このような状況のなか、小中学校の通常学級に在籍しLD・ADHD・高機能自閉症などを有し特別の配慮を要する児童生徒の学校生活への支援が求められている。そこで、特別支援教育介助員を計画的に配置し、担任をサポートすることで安全安心に学校生活を送るための教育環境の充実を図る。</p>
事業概要	<p>教諭補助員設置事業(小学校:3人、中学校:5人)</p> <p>きめ細かな学習指導や生活指導のため、校長の指揮監督の下、次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任とのチームティーチング、少人数指導 ・担任との連携による生活指導、進路指導等 <p>特別支援教育介助員設置事業(小学校:22人、中学校:7人)</p> <p>児童生徒の就学状況から特別の配慮を要する場合、校長の指揮監督の下、次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の日常生活の介助及び支援に関すること ・児童生徒の安全確保に関すること ・校外学習に関すること
上位・個別等 関連計画名	<個別等関連計画名>教諭補助員設置事業、特別支援教育介助員設置事業、中学校学習等支援教諭補助員設置事業、特別支援教育介助員設置事業
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	56,333				144	56,189
	H31	56,333				144	56,189
	H32	56,333				144	56,189
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	46	新規・継続	継続	担当課・係	教育総務課施設整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	12:心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	2・3・4	目	2・3	事業	5・15・45	細事業	5
事業名	小・中学校・幼稚園施設整備事業				細事業名	小・中学校・幼稚園施設整備事業 (老朽化対策)				

【全体計画】

事業目的	学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす学習等の場であり、児童生徒の生きる力を育むための教育環境として重要な施設です。老朽化対策事業により児童生徒の安全を確保する必要があること、また、地域の防災拠点(避難場所)となることから、大規模改修等により損耗、機能低下に対する復旧措置等、教育環境の改善を図り、学校施設の機能充実を図るものです。
事業概要	<p>○平成31年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二小、第七小学校トイレ改修工事設計業務委託 ・第五小学校屋内運動場改修工事設計業務委託 ・第十小学校屋内運動場改修工事 ・第一中学校柔剣道場改修工事設計業務委託 ・第二中学校柔剣道場改修工事 ・東幼稚園トイレ改修工事 ・西幼稚園トイレ改修工事 <p>○平成32年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二小、第七小学校トイレ改修工事 ・第五小学校屋内運動場改修工事 ・第一中学校柔剣道場改修工事 ・第四中学校屋内運動場、柔剣道場改修工事設計業務委託
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30						
H31		309,585	32,185		48,277		229,123
H32		217,876	43,110		64,665		110,101
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	47	新規・継続	継続	担当課・係	学校給食センター給食係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	12:心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	6	目	3	事業	5	細事業	10
事業名	給食センター運営				細事業名	給食センター運営(食育の推進)				

【全体計画】

事業目的	食生活や生活環境の変化に伴い、学校給食法が平成21年に改正され、学校給食の目的が「食生活の改善」から「食育の推進」を重視したものとなった。これに伴い、児童・生徒の価値観重視による食に対する偏りを修正し、保護者の食育への理解を深めるため、栄養教諭等による食に関する指導の一層の充実を図るとともに、次世代を担う親子への望ましい食習慣づくりを推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭及び給食センターの連携により、学校訪問による各教科等の中での食育の推進(栄養、食事マナー、食文化・伝統、食材流通の経路と労働への感謝、運動との関り等) ・施設見学、調理実習等を通じた保護者(家庭)への食育の推進 ・学校給食フェスタ開催等による食育の推進
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	360					360
	H31	360					360
	H32	360					360
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	48	新規・継続	継続	担当課・係	学校給食センター給食係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	12:心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	6	目	3	事業	10	細事業	5
事業名	給食センター施設整備事業				細事業名	給食センター施設整備事業				

事業目的	<p>既存学校給食センターについては、昭和46年9月に開設し、昭和53年9月の増築を経て、現在に至っている。経年による施設・設備の老朽化及び耐震性の脆弱化から、現況を改善するため、新たな施設整備が求められた。この診断結果を受け、館林市教育委員会では「館林市学校給食施設整備基本方針」を策定し、平成26年度には学校給食センター施設の整備手法等(基本計画の策定)を業務委託し、PFI方式(BTO方式)での施設整備を決定、平成27年度についてはPFI事業者選定に向けての実施方針の策定及び要求水準書の作成を行い、平成28年度に実施事業者を決定し、平成30年2学期からの新学校給食センター開設を目指している。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新学校給食センターの設計及び施設建設開始及び当該業務に係るモニタリングの実施。 ・金融機関との直接協定(ダイレクトアグリーメント)に係る支援業務の委託。 ・配送車出口道路(市道1175号線)の路面整備。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	10,145					10,145
	H31						
	H32						
H30年度 特記事項	<p>平成26年度に行った施設整備手法の検討の結果、PFI方式のBTO方式で整備することとし、平成27年度に実施方針及び要求水準書を公表した。平成28年度にはPFI事業者の選定及び建設予定地の埋設物の撤去及び業者による施設設計業務管理を実施した。平成29年度については、4月末の実施設設計業務を完了後、地区住民説明会を行い、その後施設建設業務が開始となる。なお、新センター施設は平成30年7月末に完成させ、同年8月の夏季休業期間中に開業準備を行う。供用開始については平成30年2学期からを予定している。</p>						

事業の内容

整理番号	49	新規・継続	新規	担当課・係	学校給食センター給食係					
総合計画 基本構想(基本目的)	IV:子どもたちが健やかに成長できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	12:心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる									
予算コード	款	10	項	6	目	3	事業	15	細事業	5
事業名	給食センターPFI運営事業				細事業名	給食センターPFI運営事業				

事業目的	<p>既存学校給食センターについては、昭和46年9月に開設し、昭和53年9月の増築を経て、現在に至っている。経年による施設・設備の老朽化及び耐震性の脆弱化から、現況を改善するため、新たな施設整備が求められた。これを踏まえ、館林市教育委員会では「館林市学校給食施設整備基本方針」を策定し、平成26年度には学校給食センター施設の整備手法等(基本計画の策定)を業務委託し、PFI方式(BTO方式)での施設整備を決定、平成27年度についてはPFI事業者選定に向けての実施方針の策定及び要求水準書の作成を行い、平成28年度に実施事業者を決定した。平成30年2学期からの新学校給食センターを供用開始し、平成45年8月まで当該施設の維持管理、運営をSPCに業務委託するものである。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新学校給食センターにおける維持管理、運営に係る業務の委託(事業期間:平成45年度まで) ・新学校給食センターにおける維持管理、運営に係るモニタリング(事業期間:平成31年度まで) ・新学校給食センター建物等の取得(事業期間:平成45年度まで)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	882,592	239,764		408,700		234,128
H31	429,987					429,987	
H32	428,036					428,036	

H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2学期から新学校給食センターが稼働することに伴い、SPC(特別目的会社)が当該施設の維持管理、調理運営業務等を開始。 ・SPCによる維持管理、調理運営業務の実施状況についてモニタリングを実施。
---------------	---

— 基本目的 V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち —

◆施策目的 1.3 生涯にわたって学び続けることができるまちになる

人々の生涯を通じた学びが保障され、その成果があらゆる場面で生かされるまちをめざします

◆施策目的 1.4 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる

郷土の歴史や文化を理解し、地域の特色や伝統に根ざした新しい文化を創造できるまちをめざします

◆施策目的 1.5 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる

いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しむことができ、競技力の高い選手が育つまちをめざします

事業の内容

整理番号	50	新規・継続	継続	担当課・係	生涯学習課(公民館)					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	13:生涯にわたって学び続けることができるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	4	事業	5	細事業	15
事業名	公民館運営					細事業名	公民館施設整備事業			

事業目的	市内11公民館の施設整備工事を計画的に行う。
事業概要	各公民館施設設備工事
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	12,121					12,121
	H31	12,121					12,121
	H32	12,121					12,121
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	51	新規・継続	新規	担当課・係	生涯学習課(公民館)					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよるこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	13:生涯にわたって学び続けることができるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	11	事業	5	細事業	15
事業名	三野谷公民館改築事業					細事業名	三野谷公民館改築事業			

事業目的	老朽化した公民館について、改築並びに既存公民館解体の整備を進める。
事業概要	三野谷公民館改築工事(平成30・31年度) 三野谷公民館改築工事監理業務委託(平成30・31年度) 三野谷公民館備品購入(平成31年度) 三野谷公民館解体工事設計業務委託(平成31年度) 三野谷公民館解体工事(平成31年度)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	96,519			75,700		20,819
	H31	422,538			303,400		119,138
	H32						
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	52	新規・継続	継続	担当課・係	生涯学習課(公民館)					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	13:生涯にわたって学び続けることができるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	4	事業	10	細事業	5
事業名	公民館学級講座開設事業				細事業名	公民館学級講座開設事業				

【全体計画】

事業目的	生涯学習の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習機会及び学びの場を提供するとともに、市民が地域でその成果を活かせるように支援する。
事業概要	年間を通し、各公民館において様々な学習講座を開設する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 ・女性セミナー ・高齢者教室 ・少年教室 ・成人教室 ・地域課題解決講座ほか
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	3,065					3,065
	H31	3,065					3,065
	H32	3,065					3,065
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	53	新規・継続	新規	担当課・係	向井千秋記念子ども科学館 事業係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	13:生涯にわたって学び続けることができるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	10	事業	50	細事業	5
事業名	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業					細事業名	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業			

【全体計画】

事業目的	東京大学先端科学技術研究センター(以下「東大先端研」)と日本財団による異才発掘プロジェクトROCKET(以下「ROCKET」)と連携して、個性が豊かなど本人の内面的な理由により、現状の教育環境に馴染めず悩みを抱えている子どもたち(小・中学生)に新しい学び(活動)の場を提供し、個性に合った支援を実施することにより、子どもたちが自立して生きていく力を養う。
事業概要	<p>〈平成30年度～〉</p> <p>○事業(案)</p> <p>①教職員セミナー 教職員を対象にセミナーを開催し、本事業に関する知識や理解を深める。</p> <p>②トップランナー講義</p> <p>③Activity Based Learning 東大先端研「ROCKET」において実績のあるプログラムを活用。</p> <p>④Project Based Learning 東大先端研「ROCKET」において実績のあるプログラムを活用。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	4,068					4,068
	H31	4,068					4,068
	H32	4,068					4,068
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	54	新規・継続	継続	担当課・係	文化振興課(市史編さんセンター)					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	14:芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	1	事業	70	細事業	15
事業名	市史編さん事業					細事業名	市史編さん事業(市史の刊行)			

【全体計画】

事業目的	先人たちが伝え残してきた伝統的な文化遺産やその足跡を知り、市民が郷土に愛着と誇りを持ってまちづくりを行うことができるよう、次世代へ残る『館林市史』を刊行する。
事業概要	○全体概要:『館林市史』全16巻(通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻)の刊行 ○平成30年度事業概要 ・館林市史別巻2 通史編ダイジェスト版「親子で学ぶ館林の歴史」の刊行 B5判 200ページ(オールカラー) 5,000部
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	8,865				1,500	7,365
	H31	12,000				1,500	10,500
	H32	12,000				1,500	10,500
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	55	新規・継続	継続	担当課・係	文化振興課文化財係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	14:芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	6	事業	5	細事業	5
事業名	文化財保護管理				細事業名	文化財保護管理				

【全体計画】

事業目的	先人の残した文化遺産を後世に伝えるため、文化財の適切な保護と管理を行う。
事業概要	<p>指定文化財などの適正な保護と保存、管理を行う。</p> <p>○国登録有形文化財(建造物)「旧館林二業見番組合事務所」の適切な保存及び活用を図るため、保存活用計画を策定する。</p> <p>(企画課との「歴史の小径調整会議」、歴史文化基本構想の策定、日本遺産の申請等の中で、見番の保存活用について再検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧館林二業見番組合事務所の保存活用のに関する検討委員会の開催(平成30年度) <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧館林二業見番組合事務所保存活用のための基本設計(平成31年度) ・旧館林二業見番組合事務所保存活用のための実施設計(平成32年度)
上位・個別等 関連計画名	文化財保護法、群馬県文化財保護条例、館林市文化財保護条例 等
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	6,906		411		1	6,494
	H31	8,000					8,000
	H32	20,000	10,000				10,000
H30年度 特記事項	<p>旧館林二業見番組合事務所の保存活用に関する検討委員会の開催。</p> <p>(企画課との「歴史の小径調整会議」等によって再検討)</p>						

事業の内容

整理番号	56	新規・継続	継続	担当課・係	文化振興課文化財係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	14:芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	6	事業	5	細事業	20
事業名	文化財保護管理					細事業名	茂林寺沼及び低地湿原保護管理			

【全体計画】

事業目的	「茂林寺沼及び低地湿原」は、地域との関わりの中で自然の景観が保たれ、昭和35年に県の天然記念物指定された。しかし近年、人の生活環境の変化に伴い、湿原との関わりは薄れ、乾燥化や外来動植物の侵入により、通常の維持管理では環境の保全が難しい状況になっている。そのため、平成24年3月に策定された「茂林寺沼湿原保護保全のための計画」に基づき、水環境の復原や湿原の動植物の保護、地域との関わりを増やすなど、将来にわたって豊かな湿原環境が保たれるよう施策を実施する。
事業概要	「茂林寺沼及び低地湿原」の保護・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・茂林寺沼湿原保護保全専門委員会の開催 ・自然環境調査、水源地調査の実施 ・湿原の維持管理(ヨシ刈り等) ・木道床板の整備 ・自然学習会の開催 等
上位・個別等 関連計画名	文化財保護法、群馬県文化財保護条例、館林市文化財保護条例、茂林寺沼湿原保護保全のための計画等
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	15,212		250			14,962
	H31	15,880					15,880
	H32	15,880					15,880
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	57	新規・継続	新規	担当課・係	文化振興課芸術文化係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	14:芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	7	事業	5	細事業	25
事業名	文化会館運営				細事業名	文化会館施設整備事業				

【全体計画】

事業目的	市民文化活動の拠点となる施設を整備し、機能を高め、充実を図る。
事業概要	○大ホール舞台機構設備改修工事
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	22,184					22,184
	H31						
	H32						
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	58	新規・継続	新規	担当課・係	スポーツ振興課管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよるこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	15:楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる									
予算コード	款	8	項	5	目	3	事業	5	細事業	10
事業名	公園競技施設管理運営					細事業名	公園競技施設の整備			

【全体計画】

事業目的	<p>城沼野球場の利用状況を鑑み、安全に利用できるよう改修する。</p> <p>【現状】 城沼野球場は、軟式野球の規格による施設であるが、市内に硬式野球に対応できる球場がなく、現在は軟式野球(一般、小、中学生)のほか、硬式野球(中、高校生)など、多岐にわたる利用がある。 このことから、ダッグアウト周辺フェンスへのクッション設置のほか、グラウンド内の凹凸を整地するなど、今後の利用者の安全を重視した整備を実施したい。</p>
事業概要	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダッグアウト及び内外野フェンスへのクッション設置工事 <ul style="list-style-type: none"> ダッグアウト 2,700千円 内外野フェンス 見積り依頼中 ・グラウンド内の凹凸整地 4,558千円
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30						
	H31	2,700					2,700
	H32	4,558					4,558
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	59	新規・継続	新規	担当課・係	スポーツ振興課管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	V:学ぶよろこびや豊かな心を育むまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	15:楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる									
予算コード	款	10	項	6	目	2	事業	5	細事業	10
事業名	体育施設管理運営					細事業名	市民体育館整備			

【全体計画】

事業目的	<p>社会体育施設として多くの方に利用されている市民体育館は、建設以来48年が経過し、老朽化により建物のあらゆる箇所に破損等が生じているが、利用者に安全・安心して利用してもらえるようアリーナ床面及び照明器具を改修する。</p> <p>【経過】 市民体育館は昭和43年の建設以来49年が経過し、老朽化により建物の至る箇所に破損等が生じている中、特に床面が亀裂や剥離などで傷んでおり、未然に事故を防ぐためにも、早急に床面の改修工事を実施したい。 また、現在の照明(水銀灯)をLEDにすることで、器具の長寿命と消費電力の抑制で維持費が節減されるため、LED照明の交換工事を併せて実施したい。</p>
事業概要	<p>○床張替工事 25,720千円</p> <p>○照明取替工事 11,022千円</p> <p>○設計業務委託 1,448千円</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30						
H31		38,190					38,190
H32							
H30年度 特記事項							

— 基本目的 VI 便利で快適な住みやすいまち —

- ◆施策目的 16 地域性に応じた土地利用ができているまちになる
自然や農地を保全しつつ、住環境に配慮した住みやすいまちをめざします

- ◆施策目的 17 まちなかににぎわいがあるまちになる
まちなか居住の促進や散策・回遊できるまちなみの形成などにより、
人々が交流し、歩いて楽しめるまちをめざします

- ◆施策目的 18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる
良好な居住環境が整備され、住み続けたいと思えるまちをめざします

- ◆施策目的 19 緑の多い魅力のあるまちになる
親しむことのできる公園や緑地のあるまちをめざします

事業の内容

整理番号	60	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課国土調査係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	16: 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	6	事業	10	細事業	5
事業名	地籍調査事業			細事業名	地籍調査事業					

【全体計画】

事業目的	土地の境界及び地番・地目・地積を明確にすることにより、土地の管理や活用における利便性向上を図る。
事業概要	土地の位置や形を記した公図及び登記簿の多くは、明治時代の測量に基づくなど不正確なものも多い。このため、市内のほぼ全域を対象とし、土地所有者の立会を求めて境界を確定・測量し、正確な土地情報(地番・地目・地積)を把握する。なお、この土地情報を法務局に送付し、登記簿と公図と現地を合致させる。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3年事業費	H30	22,025		13,299			8,726
	H31	23,432		14,337			9,095
	H32	18,268		10,489			7,779
H30年度 特記事項	下早川田町2地籍測量 下早川田町1地籍図原図等作成 下早川田町3調査図素図等作成						

事業の内容

整理番号	61	新規・継続	継続	担当課・係	都市計画課計画係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	16: 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	1	事業	10	細事業	15・80
事業名	都市計画総務				細事業名	景観形成事業 土地利用計画等決定推進事業				

【全体計画】

事業目的	<p>将来の人口規模に見合ったコンパクトシティを目指すために、現状の都市の分析から土地利用等の動向を的確につかみ、館林市都市計画マスタープランなどのこれまでの計画を見直し、長期的な視点にたった都市の将来像、土地利用の基本方針及び都市施設【道路・公園・下水道等】の配置方針等を明らかにする必要がある。</p> <p>また、本市らしい都市の姿を守り、将来に引き継ぐために、景観行政団体となり、景観条例や景観計画を策定することで適切な規制誘導を図る必要がある。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査 ・都市計画道路の見直し及び道路整備プログラムの策定 ・ぐんま“まちづくり”ビジョン アクションプログラムの作成 ・館林市都市計画マスタープランの見直し <p>現況課題整理とこれまでのまちづくりの検証 全体構想及び地域別構想及び実現化方策の策定 立地適正化計画の策定 《総合戦略事業35》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合交通体系調査の検討 ・景観計画策定及び景観条例の制定 <p>【事業期間】 平成23年度～ 【事業実績】 平成23年度 都市計画基礎調査 平成24～25年度 都市計画道路見直し方針及び道路整備プログラム策定 平成26～28年度 ぐんま“まちづくり”ビジョン アクションプログラム策定 平成27～ 立地適正化計画策定 平成28～ 市都市計画マスタープラン検討 平成30～ 景観計画策定及び景観条例の制定</p>
上位・個別等 関連計画名	ぐんま“まちづくり”ビジョン 東毛広域都市計画圏 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
事業主体	群馬県・館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	19,473	2,192				17,281
	H31	16,518					16,518
	H32	6,290					6,290
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・館林市立地適正化計画策定(継続) ・館林市都市計画マスタープランの見直し(継続) ・館林市景観計画策定(新規) 						

事 業 の 内 容

整理番号	62	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課商業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	17: まちなかににぎわいがあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	2	事業	7	細事業	5・10
事業名	まちなか商業活性化対策				細事業名	まちなか商業活性化対策 まちづくり総合支援事業				

【全体計画】

事業目的	中心市街地における駐車場の確保、商店街や商工会議所などが主体となったイベントへの助成などにより、便利で快適な市民生活を確保する。
事業概要	<p>○細事業: まちなか商業活性化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街連合会、各商店街の事業費補助 ・市営無料駐車場(下町、大手町)の借用及び維持・管理 ・中心市街地で開催される初市、七夕まつりの負担金補助 ・麵-1グランプリin館林事業費補助 ・館林まちゼミ、激辛・激甘・激冷グルメ総選挙への事業費補助 <p>○細事業: まちづくり総合支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の共同施設設置補助 ・街路灯の維持管理費助成
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	6,475		148			6,327
	H31	6,475		148			6,327
	H32	6,475		148			6,327
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	63	新規・継続	継続	担当課・係	建築課住宅施設係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	17: まちなかのにぎわいがあるまちになる									
予算コード	款	8	項	6	目	1	事業	20	細事業	5
事業名	空家対策関係				細事業名	空家対策関係事業(利活用・除却)				

【全体計画】

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 空家利活用助成金 年々増えていく空家の問題に対して、購入費用又は家賃の助成等の支援をし、居住可能な空家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。また、老朽危険空家の予防にも寄与する。 空家除却助成金 空家所有者の自発的な空家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 空家利活用助成金《総合戦略事業22》 市内の方、市外の方問わず、市内の空家を自ら居住する目的で購入又は賃借した場合に、購入費用の一部又は家賃の一部を助成する。また、貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付する。 空家除却助成金 防災・防犯上危険な空家を所有する者がその空家を除却する場合に、市がその除却費用の一部を助成する。
上位・個別等 関連計画名	館林市空家等対策基本計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	4,225	900				3,325
	H31	4,225	900				3,325
	H32	4,225	900				3,325
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 空家除却助成金 空家所有者の自発的な空家除却を促進し、地域の住環境改善を図るため、防災・防犯上危険な空家を所有する者がその空家を除却する場合に、市がその除却費用の一部を助成する。 						

事業の内容

整理番号	64	新規・継続	継続	担当課・係	安全安心課交通政策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	11	事業	15	細事業	5
事業名	公共交通整備事業				細事業名	公共交通整備				

【全体計画】

事業目的	民間路線バスの代替として、交通弱者の足の確保等のため、公共交通機関としての路線バスの安定した継続的運行を図る。
事業概要	<p>《総合戦略事業38》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域公共路線バスとして、「館林・板倉北線」、「館林・千代田線」、「館林・板倉線」、「多々良巡回線」、「館林・明和・板倉線」、「渡瀬巡回線」、「館林・明和・千代田線」、「館林・邑楽・千代田線」の8路線を運行し、運行費補助金を交付。 ・車両更新に対し、車両購入費補助金を交付。 ・館林駅東口と館林厚生病院を結ぶ「厚生病院シャトル線」を運行。 ・住民ニーズに合った運行経路及びダイヤの見直しを行う。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	1市4町(館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町)、バス事業者

(単位: 千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	138,371		7,487		64,554	66,330
H31	130,581		7,091		60,717	62,773	
H32	134,211		7,091		63,565	63,555	
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「館林・明和・千代田線」の車両更新 ・公共交通情報のオープンデータ化に伴うサーバ等利用負担金 (システム構築経費、データ整備経費は県負担) 						

事業の内容

整理番号	65	新規・継続	継続	担当課・係	道路河川課維持係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	2	目	2	事業	5	細事業	15
事業名	道路維持管理			細事業名	橋梁長寿命化修繕事業					

【全体計画】

事業目的	<p>館林市内における市道の橋梁は、平成29年3月現在で364橋を有しており、これら多くは高度成長期に集中して建設されたものであり、その内、防災上重要な橋長15m以上の橋梁は51橋ある。今後は供用から50年以上のものや、これらに近いものが増え続け、橋梁の高齢化が急速に進行していき、適切な維持管理を行わなければ橋の補修・架け替えに膨大な費用が必要となる。このことから従来からの事後的修繕から、予防的修繕へと転換を図ることにより、財政負担の軽減と道路交通の安全性確保を目的として、平成24年度に策定した「館林市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋長15m以上の橋梁について、優先的に長寿命化の為に修繕及び定期点検を行い、また、平成26年7月1日に改正された道路法施行規則に基づき、橋長15m未満の橋梁について、5年に1回の頻度で定期点検を行うものである。</p>																																						
事業概要	<p>○橋長15m以上の橋梁について優先的に長寿命化の為に修繕を行う。(補助対象) 〔過年度の状況〕 対象橋梁: 51箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査期間 平成20～22年度(39橋: 単独)、平成23年度(12橋: 補助) ・計画策定 平成24～25年度に「館林市橋梁長寿命化修繕計画」を策定(補助) ・修繕工事 平成26～27年度に四ツ谷橋修繕工事を実施(補助・NEXCO負担金) 平成27年度 南大橋橋梁(明和町管理)修繕工事(館林市負担金) 平成28年度 谷田川橋修繕工事(補助・明和町負担金) 平成29年度 近苗橋修繕工事(補助) <p>○橋長15m未満の橋梁について、道路法施行規則に基づく定期点検を行う。(補助対象)</p> <p>【総事業費】 299,940千円 (H30～H32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">〔 補 助 〕</th> <th rowspan="2">〔 単 独 〕</th> <th rowspan="2">年度計</th> </tr> <tr> <th>委託(点検)</th> <th>委託(設計)</th> <th>工事・負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>21,060千円 (51橋)</td> <td>千円 (橋)</td> <td>67,230千円 (3橋)</td> <td>9,010千円</td> <td>97,300千円</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>22,000千円 (73橋)</td> <td>40,000千円 (2橋)</td> <td>40,000千円 (2橋)</td> <td>4,320千円</td> <td>106,320千円</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>22,000千円 (73橋)</td> <td>10,000千円 (2橋)</td> <td>60,000千円 (1橋)</td> <td>4,320千円</td> <td>96,320千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65,060千円 (197橋)</td> <td>50,000千円 (4橋)</td> <td>167,230千円 (6橋)</td> <td>17,650千円</td> <td>299,940千円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	〔 補 助 〕			〔 単 独 〕	年度計	委託(点検)	委託(設計)	工事・負担金	H30	21,060千円 (51橋)	千円 (橋)	67,230千円 (3橋)	9,010千円	97,300千円	H31	22,000千円 (73橋)	40,000千円 (2橋)	40,000千円 (2橋)	4,320千円	106,320千円	H32	22,000千円 (73橋)	10,000千円 (2橋)	60,000千円 (1橋)	4,320千円	96,320千円	計	65,060千円 (197橋)	50,000千円 (4橋)	167,230千円 (6橋)	17,650千円	299,940千円
年度	〔 補 助 〕			〔 単 独 〕	年度計																																		
	委託(点検)	委託(設計)	工事・負担金																																				
H30	21,060千円 (51橋)	千円 (橋)	67,230千円 (3橋)	9,010千円	97,300千円																																		
H31	22,000千円 (73橋)	40,000千円 (2橋)	40,000千円 (2橋)	4,320千円	106,320千円																																		
H32	22,000千円 (73橋)	10,000千円 (2橋)	60,000千円 (1橋)	4,320千円	96,320千円																																		
計	65,060千円 (197橋)	50,000千円 (4橋)	167,230千円 (6橋)	17,650千円	299,940千円																																		
上位・個別等 関連計画名	館林市橋梁長寿命化修繕計画、道路法施行規則第4条の5の2																																						
事業主体	館林市																																						

(単位: 千円)

3力年事業	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	97,300	48,559		30,000		18,741
	H31	106,320	56,100		32,400		17,820
	H32	96,320	50,600		32,400		13,320
H30年度 特記事項	橋梁定期点検業務委託 51橋 千代田跨道橋修繕工事 辦天橋修繕工事 多々良橋修繕工事						

事 業 の 内 容

整理番号	66	新規・継続	継続	担当課・係	道路河川課整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	2	目	3	事業	5	細事業	10
事業名	道路新設改良事業				細事業名	道路新設改良事業(市単独)				

【全体計画】

事業目的	<p>本市道は地域間を結ぶ幹線道路及び生活道路で、総合計画の方針である市内の幹線道路網を体系的に整備することにより、円滑な道路ネットワークの確立や市内移動手段の利便性、安全性向上、機能的な都市の形成を図る。</p> <p>①市道8199号線外6路線(岡野町) 西部一号線立体交差事業に伴い、市道の分断や踏切の閉鎖により通行に不便を来すことから、地域の生活道路機能を確保するために、迂回道路としての機能を持った拡幅整備、及び新設道路の整備を図る。</p> <p>②市道7003号線(成島町) 館林厚生病院のリニューアル耐震化工事が完了したこと、付近の市道1級7号線の周辺整備が完了したことから、病院利用者の利便性向上のため厚生病院北側の道路整備を図る。また特に病院北西部は排水不良で、降雨時には冠水する箇所であり同時に排水整備を図る。</p> <p>③市道5012号線(小桑原町) 小桑原町の住宅街と(主)佐野行田線を結ぶ交通量の多い路線であり、通学危険箇所として位置づけられ、道路幅員が狭小で車両のすれ違いが困難なため、車両は民地に入り通行している状況であることから、特に必要性の高い交差点部について拡幅整備を図るものです。</p>
事業概要	<p>①市道8199号線外6路線改良事業(岡野町) 事業延長 1,077m 事業幅員 5.0m~7.0m 事業費 約147,480千円</p> <p>②市道7003号線道路改良事業(成島町) 事業延長250m 事業幅員 2.7m→6.0mに拡幅 事業費 約51,000千円</p> <p>③市道5012号線交差点改良事業(小桑原町) 事業延長30m 事業幅員 4.5m→6.5mに拡幅 事業費 約10,000千円</p> <p>【総事業費】 約208,480千円</p>
上位・個別等 関連計画名	西部一号線立体交差事業(群馬県)
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	13,379			12,041		1,338
	H31	26,100			23,490		2,610
	H32	34,210			30,789		3,421
H30年度 特記事項	<p>①市道8199号線外6路線改良事業(岡野町) 詳細設計L=140m</p> <p>②市道7003号線道路改良事業(成島町) 測量L=100m</p> <p>③市道5012号線交差点改良事業(小桑原町) 測量・詳細設計L=30m、用地買収60㎡</p>						

事業の内容

整理番号	67	新規・継続	継続	担当課・係	道路河川課整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	2	目	3	事業	5	細事業	30
事業名	道路新設改良事業				細事業名	茂林寺前駅西側区域市道整備事業				

【全体計画】

事業目的	この区域は茂林寺前駅の西側に位置し、開発された住宅地と鉄道敷に囲まれた市街化区域内の未利用地となっている。この未利用地は、春秋の長雨や集中降雨により度々宅地浸水等による被害から、改善策が求められていた。そのため雨水冠水対策としての道路整備と併せて、茂林寺前駅の交通結節点としての機能を確保するため広場整備を行い、一体的対策を講じることにより、本市の観光事業にも寄与するものである。
事業概要	○茂林寺前駅西側区域市道整備 事業延長 431m 事業幅員 5.0m～12.0m 【総事業費】 298,430千円
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	7,500					7,500
	H31	27,600					27,600
	H32	40,860					40,860
H30年度 特記事項	道路改良工事 75m						

事 業 の 内 容

整理番号	68	新規・継続	継続	担当課・係	道路河川課整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	2	目	3	事業	25	細事業	5
事業名	道のでこぼこ解消事業(歩道整備)				細事業名	道のでこぼこ解消事業(歩道整備)				

【全体計画】

事業目的	道路における市内移動の利便性、安全性を向上させるため、歩道空間における段差解消及び狭い歩道を広くする整備ならびに、老朽化した排水構造物等によるでこぼこの解消を図り、利用する方々が安全で安心して通行できる整備を進めるものである。
事業概要	<p>・道路施設の安全対策工事 市内一円の歩道段差解消 全体計画延長 5,430.0m 11路線(1206・1095・1100・1107・1111・1-6・7215・4103・2-16・1110・4265) 総事業費 623,079千円 内補助対象H20～H22 58,118千円 単独費 598,556千円 H30～H36 97,865千円 H29までの事業延長 3,135.4m 、 事業費 209,122千円</p> <p>【事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30 177.0m、 事業費 41,407千円(4103・1107) ・H31 273.0m、 事業費 39,422千円(4103・1107) ・H32 420.0m、 事業費 32,181千円(4103・1110)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3年事業費	H30	41,407	15,000		13,500		12,907
	H31	39,422	15,000		13,500		10,922
	H32	32,181	15,000		13,500		3,681
H30年度 特記事項	<p>道のでこぼこ解消事業(歩道整備)</p> <p>・市内一円の歩道等段差解消(道路施設安全対策事業) 委託 (測量設計費) 市道4103号線 松原二丁目 209.0m</p> <p>工事 市道4103号線 松原二丁目 歩道 115.0m 市道1107号線 仲町外 62.0m</p>						

事 業 の 内 容

整理番号	69	新規・継続	継続	担当課・係	都市計画課都市再生推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	2	事業	90	細事業	5
事業名	大手町大街道線道路改良事業				細事業名	大手町大街道線道路改良事業				

【全体計画】

事業目的	<p>本路線は、館林市の中央に位置し、(都)五号線(主要地方道佐野行田線)と(都)西部一号線を結ぶ幹線道路であり、中心市街地の内環状機能を担う目的で計画されたものである。</p> <p>本区間は、商業・近隣商業地域内にあり、朝夕ラッシュ時の渋滞が著しく、近隣小中学校の通学路に指定されているにもかかわらず、既設道路は歩道がなく、歩行者・自転車利用者の安全・安心を確保する必要がある。</p> <p>また、中心市街地活性化基本計画区域内であり、安全で快適な生活空間と社会変化に対応する多彩な商業空間の形成が求められており、早期事業化することで、本市の根幹的基盤整備を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事業延長 870m(本町一丁目交差点～大街道一丁目交差点) ○基本幅員 17.0m(車道部 5.0m×2 歩道部 3.5m×2) ○全体事業費 2,000,000千円(概算) ○道路規格 4種2級(設計速度50km/h) ○用地買収面積 5,000㎡(概算) ○補償対象建物 60件(概算) ○事業期間 平成31年度～平成40年度(10カ年事業)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30						
	H31	4,947					4,947
	H32	17,000					17,000
H30年度 特記事項	整備効果検討等調査業務 870m 本事業区間が群馬県管理の県道であることから、事業化については群馬県と協議が必要。						

事業の内容

整理番号	70	新規・継続	継続	担当課・係	都市計画課都市再生推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	2	事業	85	細事業	5
事業名	中央通り線道路改良事業				細事業名	中央通り線道路改良事業				

【全体計画】

事業目的	<p>本事業は、(都)青柳広内線と(都)館林駅前通り線および(都)本町通り線を結ぶ都市計画道路中央通り線の一部であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化する骨格軸として計画されたものである。</p> <p>事業区間沿線には商店街や銀行等が立ち並び、中心市街地のまちづくりを考える上で非常に重要な路線である。</p> <p>しかし、朝夕ラッシュ時の交通渋滞が著しいことに加えて、学校通学路に指定されているにもかかわらず、既設道路は歩道が未整備のため、歩行者・自転車利用者の安全・安心の確保および円滑な交通を確保する上で早期の整備が望まれている。</p> <p>また、事業区間は中心市街地活性化基本計画区域内であり、便利で快適な生活空間の創出と市街地とりわけ商業空間の再生、活性化が求められているため、早期事業化し、中心市街地活性化を図り、魅力的なまちづくりに寄与することを目的とする。</p>
事業概要	<p>【事業延長】</p> <p>(1) 都市計画道路中央通り線 560.0m(館林駅入り口交差点～本町一丁目交差点)</p> <p>(2) 都市計画道路大手町大街道線 220.0m(本町一丁目交差点部)</p> <p>【基本幅員】</p> <p>(1) 都市計画道路中央通り線 20.0m(車道部7.0m、歩道部8.0m、路上施設部5.0m)</p> <p>(2) 都市計画道路大手町大街道線 17.0m(車道部10.0m、歩道部7.0m)</p> <p>【全体事業費】</p> <p>4,500,000千円</p> <p>【道路規格】</p> <p>4種2級(設計速度40km/h)</p> <p>【事業期間】</p> <p>平成28年度～平成35年度(8カ年事業)</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	550,700		445,810	99,000		5,890
	H31	769,400		613,500	152,460		3,440
	H32	769,400		613,500	152,460		3,440
H30年度 特記事項	埋蔵文化財調査 1式 用地買収 2,000 m ² 建物等移転補償 20戸						

事業の内容

整理番号	71	新規・継続	継続	担当課・係	区画整理課管理係・整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	3	事業	15	細事業	5
事業名	西部第一南地区				細事業名	西部第一南土地区画整理事業				

【全体計画】

事業目的	西部一号線等の都市計画道路の整備を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、ならびに区画道路、水路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。
事業概要	<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用増進を図るため、換地計画に基づき換地を行う ・建物等の移転を行う ・道路築造工事を行う <p>【事業期間】 昭和61年度～平成30年度(33カ年事業) ※事業期間延伸予定 【総事業費】 11,500,000千円 【事業実績】 昭和61年度より事業に着手し、平成28年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率97.7%、道路築造率89.5%、建物移転率93.9%そして事業費ベースに換算すると87.6%となっている。</p>
上位・個別等 関連計画名	西部第一中土地区画整理事業、西部第二土地区画整理事業
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	65,312		51	4,800	5,201	55,260
	H31	250,000		51	25,000	5,500	219,449
	H32	250,000		51	25,000	5,500	219,449
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路及び区画道路築造工事等 11,400千円 ・建物移転等 37,284千円 ・配水管布設工事 3,332千円 ・建物調査等委託料 12,000千円 ・事務費 1,296千円 						

事業の内容

整理番号	72	新規・継続	継続	担当課・係	区画整理課管理係・整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	3	事業	20	細事業	5
事業名	西部第一中地区				細事業名	西部第一中土地区画整理事業				

【全体計画】

事業目的	館林駅の交通結節機能と利便性の向上のため、西口駅前広場の整備を行う。また、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、区画道路、水路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。
事業概要	○内容 ・土地利用増進を図るため、換地計画に基づき換地を行う ・建物等の移転を行う ・道路築造工事を行う 【事業期間】 平成元年度～平成37年度(37カ年事業) 【総事業費】 8,700,000千円 【事業実績】 平成元年度より事業に着手し、平成28年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率100%、道路築造率91.3%、建物移転率95.7%そして事業費ベースに換算すると86.6%となっている。
上位・個別等 関連計画名	西部第一南土地区画整理事業、西部第二土地区画整理事業
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	274,336	38,230		118,100	4,801	113,205
	H31	150,000	60,000		44,100	5,000	40,900
	H32	150,000	60,000		44,100	5,000	40,900
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路及び区画道路築造工事等 217,010千円 ・建物移転等 21,753千円 ・配水管負担金工事 15,454千円 ・建物調査等委託料 18,500千円 ・事務費 1,619千円 						

事業の内容

整理番号	73	新規・継続	継続	担当課・係	区画整理課管理係・整備係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	3	事業	55	細事業	5
事業名	西部第二地区				細事業名	西部第二土地区画整理事業				

【全体計画】

事業目的	西部三号線等の都市計画道路の整備を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、区画道路、水路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。
事業概要	○内容 ・平成24年9月24日より、市施行による土地区画整理事業となる。(法第128条による事業引継) 【事業期間】 平成11年度～平成36年度(26カ年継続事業) 【総事業費】 10,200,000千円 【事業実績】 平成11年度より事業に着手し、平成28年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率94.0%、道路築造率46.3%、建物移転率31.2%そして事業費ベースに換算すると41.5%となっている。
上位・個別等 関連計画名	西部第一南土地区画整理事業、西部第一中土地区画整理事業
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	134,270	54,528		40,100	7,202	32,440
	H31	450,000	230,000		93,000	5,000	122,000
	H32	450,000	230,000		93,000	5,000	122,000
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路及び区画道路改良工事等 22,500千円 ・建物移転等 71,943千円 ・配水管布設工事 6,100千円 ・建物調査等委託料 29,200千円 ・事務費 4,527千円 						

事業の内容

整理番号	74	新規・継続	継続	担当課・係	都市計画課都市再生推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	4	目	4	事業	5	細事業	10
事業名	整備費			細事業名	館林駅東口駅前広場施設改良事業					

【全体計画】

事業目的	<p>館林駅東口駅前広場は、平成6年3月に完成し、平成21年12月には館林東西駅前広場連絡通路が完成するなど、供用開始から約20年が経過する中で、利用者ニーズの変化が起きている。また、現在、館林駅西口駅前広場の整備が進められており、供用開始後は東西駅前広場で利用状況の大きな変化が予想される。</p> <p>このような変化に対応するために、東口駅前広場の現状の問題点を洗い出し、西口駅前広場との整合性を図りながら、既存施設の改良や東西駅前広場の機能分散を行う計画策定及び実施設計後に、整備工事を行い、駅前広場利用者の利便性向上による交通結節点としての機能強化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【事業期間】 平成25年度～平成31年度</p> <p>【設計業務】 計画策定及び実施設計業務 1式</p> <p>【整備施設】 シェルター 51m ベンチ 2台 身障者用駐車スペース 1台 歩道のバリアフリー化 1式 送迎用駐車場拡張 1式</p> <p>【事業実績】 平成25年度 基本計画策定、現地測量 平成26年度 実施設計 平成27年度 シェルター・ベンチ設置 平成28年度 バリアフリー化工事</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	764					764
	H31	17,852		2,159	12,952		2,742
	H32						
H30年度 特記事項	<p>バリアフリー化工事 1式 案内看板修正業務委託 1式</p> <p>館林駅西口広場との整合性を図るため、東口広場の工事を西口広場整備の進捗状況に合わせる必要がある。東口広場の機能が平成30年度に西口広場へ移転完了する予定であることから、本事業の完成年度は平成31年度となる。</p>						

事業の内容

整理番号	75	新規・継続	継続	担当課・係	建築課住宅施設係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	18: 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる									
予算コード	款	8	項	6	目	1	事業	10	細事業	5
事業名	公営住宅ストック総合改善事業				細事業名	公営住宅ストック総合改善事業				

【全体計画】

事業目的	市民が健康で文化的な生活を送るためには、居住の確保が必要である。そのため、公営住宅ストックの計画的な修繕により、住宅に困窮する低額所得者の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい公営住宅を安定的に供給することが重要となる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住宅等整備計画 県及び各市町村は、子育て世帯や高齢者世帯等が安心して住み続けられる住宅ストックの充実を図り、地域における住宅に対する多様な需要に応じた住宅や居住環境の整備を行う。 ・整備計画(平成30年度～平成32年度) 屋根及び外壁改修工事(松原住宅、若宮町住宅) (耐久性向上、躯体への影響の低減のため、屋根の再防水及び外壁の再塗装をするもの)
上位・個別等 関連計画名	館林市市営住宅長寿命化計画
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	42,952	20,100		20,100	2,752	0
	H31	65,000	31,200		31,200	2,600	0
	H32	73,000	35,040		35,040	2,920	0
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根及び外壁改修工事(若宮町第1住宅) クラックからの雨漏りを防止するため、屋上防水改修や外壁再塗装を行い、躯体への影響を低減するとともに耐久性を向上させるもの。 						

事業の内容

整理番号	76	新規・継続	継続	担当課・係	緑のまち推進課緑化政策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	19: 緑の多い魅力のあるまちになる									
予算コード	款	8	項	5	目	1	事業	18	細事業	5
事業名	まちなか緑化推進事業				細事業名	まちなか緑化推進事業				

【全体計画】

事業目的	<p>近年の地球温暖化やヒートアイランド現象により、本市の中心市街地は周辺の地域と比べ、気温の上昇が顕著であり、その要因のひとつとして、中心市街地の緑が不足していることが挙げられる。</p> <p>そこで、中心市街地を「まちなか」と称し、市民と共創することを理念に、まちなかの緑化を推進することで、ヒートアイランド現象の緩和と良好な景観の形成を図り、「日本一暑いまち館林」の生活環境を改善する。</p>
事業概要	<p>公共用地の緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅前広場 ・花壇(北側) 灌水設備設置 ・花壇(南側) 更新 ○まちなか涼み処(緑地3か所)等の市民協働による緑化の推進 <p>民有地の緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちなか緑化推進事業費補助金
上位・個別等 関連計画名	館林市都市計画マスタープラン、館林市中心市街地活性化基本計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	2,028					2,028
H31	2,000					2,000	
H32	2,000					2,000	

H30年度 特記事項	<p>駅前花壇については、平成29年度実施の北側花壇の更新に引き続き、南側花壇についての更新を実施します。また、北側花壇については、自動的に灌水可能な設備を設け、維持管理の充実を図ります。</p>
---------------	--

事業の内容

整理番号	77	新規・継続	継続	担当課・係	緑のまち推進課緑化政策係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	19: 緑の多い魅力のあるまちになる									
予算コード	款	8	項	5	目	1	事業	26	細事業	5
事業名	花と緑推進事業				細事業名	花と緑推進事業				

【全体計画】

事業目的	花と緑の多様な役割を活かしながら、市民協働による地域活動の活性化を図り、花と緑の豊かなまちづくりを推進する。
事業概要	<p>花と緑の豊かなまちづくりを推進する「花と緑の館林づくり協議会」と共に「花と緑のフェスティバル～緑いっぱい花がほほえむ館林～」を開催し、市民と協働で緑化を推進する。</p> <p>◆花と緑のフェスティバル2018～緑いっぱい花がほほえむ館林～ ○まちなか飾花 期間: 平成30年4月21日(土)～5月27日(日) 場所: 駅前広場、歴史の小径、市庁舎周辺、尾曳橋等</p> <p>○花と緑の広場 期間: 平成30年5月3日(木)～4日(金) 2日間 場所: つつじが岡公園大芝生広場 内容: 緑の体験教室、木かげのコンサート、市民協働による飾花等</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市・花と緑の館林づくり協議会

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	7,000					7,000
	H31	7,000					7,000
	H32	7,000					7,000
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	78	新規・継続	継続	担当課・係	緑のまち推進課公園管理係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VI: 便利で快適な住みやすいまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	19: 緑の多い魅力のあるまちになる									
予算コード	款	8	項	5	目	4	事業	65	細事業	5
事業名	都市公園等整備事業				細事業名	都市公園等整備事業(花山1・2号公園)				

【全体計画】

事業目的	都市計画決定2・2・20と21花山1号と2号公園(街区公園)は、館林都市計画事業花山土地区画整理事業により公園用地を計画し、館林市花山土地区画整理組合から館林市が引き継いだ。花山土地区画整理区域は、つつじが岡公園に隣接し、城沼・古城沼に囲まれるなど自然環境に恵まれた居住志向の強い地域であり、東北自動車道館林ICに2.5kmと交通条件に恵まれ、近年、急速に住宅が増え、急激に人口が増加している状況であることから、早急な環境整備が必要となっている。
事業概要	花山1号公園(平成25年度～平成30年度) 【事業費】 32,078千円 【公園整備面積】 2,752㎡ 【施設整備】 便所 1基、水飲み 1基、四阿 1基、園路灯 2基、ベンチ 4基、車止め 4基、ネットフェンス 190.0m、擁壁 90m、自転車置き場(アスファルト舗装)32㎡、植栽 1式、グラウンドコート整備 ダスト舗装2,400㎡ 健康遊具 3基 【事業期間】 平成25年度～平成30年度(6カ年事業)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	7,787					7,787
	H31						
	H32						
H30年度 特記事項							

— 基本目的 VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち —

◆施策目的 20 新しい産業が起きるまちになる

創造性あふれ、活力みなぎる産業が育つまちをめざします

◆施策目的 21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる

魅力とにぎわいあふれる商工業が育ち、活気があるまちをめざします

◆施策目的 22 安定した労働環境が整っているまちになる

市内で働ける環境が整っており、安定的に働けるまちをめざします

◆施策目的 23 農産物を安定して提供できるまちになる

効率的で安定的な農業が営まれ、安全で安心な農産物を提供できるまちをめざします

◆施策目的 24 多くの人を訪れたい個性と魅力のあるまちになる

観光の魅力や物産が充実して、繰り返し訪れてみたいまちをめざします

事 業 の 内 容

整理番号	79	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課企業誘致係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	20: 新しい産業が起きるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	8	事業	20	細事業	5
事業名	企業誘致対策			細事業名	企業誘致対策					

【全体計画】

事業目的	<p>土地利用計画に基づく団地開発の適地調査や新たな工業団地の開発を進める。また、宅地建物取引業者等の協力による企業立地マッチングを図る。更には、本市が企業立地において適地であることを市内外へ広くPRすると共に、優遇制度を制定し企業誘致の推進を図り、新たな雇用を創出、財源確保、地域経済の更なる活性化など、「活力あるまちづくり」を推進する。</p> <p>企業の本社機能を誘致し新たな雇用を創出すると共に、本社機能に勤務する社員の移住による人口増加や地域経済の活性化に努める。</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業4》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな団地開発に向けた計画の検討及び行政手続の推進により、早期開発に努める。 ・立地希望企業と宅地建物取引業者等とのマッチングによる企業進出用地の開拓を図る。 ・本市の企業立地優位性のPR(東京圏での情報発信PR)による企業誘致の推進。 ・新たな団地開発・分譲と整合した時期に併せて、企業誘致優遇策を検討する。 ・本社機能の誘致・移転により、新たな雇用を創出すると共に、そこに勤務する社員の移住促進を図るために奨励金を支給する。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	2,682					2,682
	H31	2,682					2,682
	H32	2,682					2,682
H30年度 特記事項	<p>・本社機能誘致移住奨励金 誘致・移転に伴う本社機能勤務者の移住者に対し、次の奨励金を支給する。 基本額: 移住奨励金 1世帯20万円 加算額: 子育て加算 1人5万円(上限15万円3人まで) 18歳以下の者(学生又未就学児に限る)または妊婦がいる場合</p>						

事 業 の 内 容

整理番号	80	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課企業誘致係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	20: 新しい産業が起きるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	8	事業	30	細事業	5
事業名	企業支援事業				細事業名	企業支援事業				

【全体計画】

事業目的	企業との良好な関係を築くための連携強化と既存企業が元気で継続して操業を続けてもらうための支援、規模拡大や経営安定・向上につながる規制緩和など、市外への流出防止を図る。
事業概要	<p>《総合戦略事業5》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問とし職員2名を基本に、団地内企業及び団地外の主要企業(従業員30名以上)を定期訪問し情報交換、課題・要望の把握に努め可能なものについて協力・支援を行う。 ・市ホームページによる企業情報の発信、企業PR・イメージアップを図り新たな受注等に結び付けることにより、企業の業績安定・向上を支援する。 ・空き工場や空き用地の情報収集に努め、企業へ紹介し空き用地等の有効利用を図り市外流出防止に取り組む。 ・工場立地法地域準則条例による工場の敷地面積における緑地等面積割合の規制緩和を周知し、設備投資の拡大を促す。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	416					416
	H31	416					416
	H32	416					416
H30年度 特記事項	・館林市立地企業マップ作成						

事業の内容

整理番号	81	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課工業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	1	事業	10	細事業	5
事業名	商工総務			細事業名	商工総務 (住宅リフォーム・多世代同居)					

【全体計画】

事業目的	<p>○住宅リフォーム資金助成金 経済対策として、市内経済の活性化に資するとともに、住宅環境の改善を図る。</p> <p>○移住定住促進リフォーム資金助成金 市内経済の活性化策として、また、市内の空家等の有効活用により移住定住の促進を図る。</p> <p>○多世代同居支援助成金 経済対策として、多世代同居のための個人住宅リフォーム工事を行った者に対し助成金を交付することで、移住者・定住者への移住支援を図る。 ※引き続き経済対策として平成30年度においても、1年間期間を延長して実施する)</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業6》</p> <p>○住宅リフォーム資金助成金 市内の住宅のリフォーム工事に対し助成金を交付する。 ・助成対象者: 本市に居住し、当該住宅に居住している者 ・助成対象住宅: 市内に存する住宅(築年数5年以上) ・助成対象工事: 20万円以上(消費税込)で市内に本店のある企業が施工する工事 ・助成金の額: 助成対象経費の10分の1に相当する額とし、3万円を限度とする。</p> <p>○移住定住促進リフォーム資金助成金 ・助成対象者: 本助成を申請する日の属する年度の3月末日までにリフォーム工事を完了し、本市に転入し、居住する者 ・助成対象住宅: 市内に存する住宅(築年数5年以上) ・助成対象工事: 20万円以上(消費税込)で市内に本店のある企業が施工する工事 ・助成金の額: 助成対象経費の3分の1に相当する額とし、30万円を限度とする。</p> <p>○多世代同居支援助成金 住宅リフォーム資金助成金の交付決定を受けた者で、個人住宅リフォーム工事完了後、速やかに多世代同居すること。 ・助成金の額 一律15万円とする。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	3,450					3,450
	H31						
	H32						
H30年度 特記事項	移住定住促進リフォーム資金助成金は、これまで住宅リフォーム資金助成金の予算内で運用していたが支援の明確化をした。						

事 業 の 内 容

整理番号	82	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課商業振興係						
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる										
予算コード	款	7	項	1	目	1	事業	20	細事業	5	
事業名	金券発行事業				細事業名	金券発行事業					

【全体計画】

事業目的	市が現金で交付している市民への各種補助金等を、市内の店舗で使用できる期限付きの金券に切り替えることにより、市内での確実な消費とそれによる商業活性化を図る。
事業概要	現金で交付している市民への各種補助金を、市内の店舗で使用できる期限付きの金券で交付する。 また、市職員共済会の給付事業やふるさと納税返礼品の一部も金券で交付する。 さらに、プレミアム付き(10%)の金券の販売も行う。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	251,156				238,611	12,545
	H31	251,156				238,611	12,545
	H32	251,156				238,611	12,545
H30年度 特記事項	発行予定内訳						
	区分	セット	枚数	金額(千円)	備考		
	金券(補助金等分)	—	41,815	41,815			
	金券(販売分)	—	14,605	14,605			
	小計	—	56,420	56,420			
	プレミアム付き	5,000	55,000	55,000	11枚/セット		
合計	5,000	111,420	111,420				

事業の内容

整理番号	83	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課商業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	2	事業	8	細事業	5
事業名	まちなか創業支援事業				細事業名	まちなか創業支援事業				

【全体計画】

事業目的	<p>創業を希望する方が、パッケージ化された支援メニューを利用することで、中心市街地での新規創業に繋げ、まちなかのにぎわい創出と商業の活性化を図る。</p> <p>・館林市中小企業振興会議からの提言(抜粋) 専門家による市場分析や経営計画書等作成の支援が必要 新規事業を行おうとする者に対する積極的な支援が必要</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業10》</p> <p>①構想段階 雇用の創出と商業の活性化を図るため、創業に興味のある方や創業しようと考えている方を対象に創業塾を開催し、創業に向けた意思確認や自己分析を行い、創業計画書作成のポイントを学ぶなどして創業の土台を築くとともに、必要な知識を習得する。</p> <p>基本編: 創業に興味のある方 年2回 応用編: 創業を目指している方(具体的に希望する業種がある方) 年2回</p> <p>②準備段階 中心市街地の空き店舗を利用する創業者に、改装費の一部及び家賃の一部補助を行う。 これに加え、創業に関する融資の利子を1年間補給する(商業金融対策)</p> <p>③フォローアップ 店舗を広く周知するため、ケーブルテレビの1分PRに出演(経費は市が全額助成)していただくとともに、創業後概ね半年後に中小企業診断士による店舗診断も受診し、経営強化を図る。 さらに、広告宣伝費の一部補助や、中小企業診断士、会計士等の専門家による継続的な経営に関する相談を実施し、創業後の経営の継続的な支援を強化する。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	6,454					6,454
	H31	6,454					6,454
	H32	6,454					6,454
H30年度 特記事項							

事 業 の 内 容

整理番号	84	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課商業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	2	事業	8	細事業	5
事業名	たてばやし商業支援事業				細事業名	たてばやし商業支援事業				

【全体計画】

事業目的	<p>まちなか(中心市街地)以外での商業活動(創業者・既存事業者)を支援。 市外からの事業者の誘致とそれに伴う移住・定住の促進。 リノベーションまちづくりを推進し、エリア価値を高める。 たてばやしのグルメ情報を発信し、交流人口を拡大する。</p>
事業概要	<p>《総合戦略事業7》 【リノベーションまちづくり事業】 ○既存の建物や空間を生かし、新しい使い方をし付加価値をプラスする“リノベーション”の手法を用いて、遊休不動産を再生・利活用し、エリアの価値を高めるため「リノベーションまちづくり」を推進する。 ・リノベーションスクールの開校 【たてばやしグルメ情報事業】 うどんやラーメン等の館林市のグルメ情報を市内外に広め、にぎわいの創出と交流人口の拡大を図る。 ・グルメ情報マップの作成 【まちなか以外の創業者の支援】 まちなか(中心市街地)以外の空き店舗を利用する創業者に、改装費の一部及び家賃の一部補助を行う。これに加え、創業に関する融資の利子を1年間補給する(商業金融対策) 店舗を広く周知するため、ケーブルテレビの1分PRに出演(経費は市が全額助成)していただくとともに、創業後概ね半年後に中小企業診断士による店舗診断も受診し、経営強化を図る。 さらに、広告宣伝費の一部補助や、中小企業診断士、会計士等の専門家による継続的な経営に関する相談を実施し、創業後の経営の継続的な支援を強化する。 【空き店舗の利活用】 空き店舗情報システムの運営とシステム掲載物件の賃貸借契約が成立した場合、空き店舗の所有者に対して、当該空き店舗の固定資産税(都市計画税を含む)の1/2(上限50,000円)を補助する。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	10,529				240	10,289
	H31	10,529				240	10,289
	H32	10,529				240	10,289

H30年度 特記事項	<p>平成27年度から実施した「店舗リニューアル助成金」は、平成29年度末をもって終了。 リノベーションまちづくり事業の推進のために「リノベーションスクール」を開校する。 たてばやしグルメ情報事業として、グルメマップを作成する。</p>
---------------	--

事 業 の 内 容

整理番号	85	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課商業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	2	事業	10	細事業	5
事業名	商業金融対策			細事業名	商業金融対策					

【全体計画】

事業目的	<p>中小企業向けの市制度融資を行い、事業者の経営の安定と活性化を図ることで、市内中小企業の振興に寄与する。</p> <p>地方の景気はいまだ不透明な状況であり、中小企業者は借入によるリスクを警戒し積極的な企業活動が阻害されている怖れがある。これに対し、経営安定資金(運転資金)・経営振興資金(設備資金)を利用した事業者や、日本政策金融公庫等の創業融資を利用して創業した創業者に対して利子補給を行うことにより、積極的な企業活動や創業を支援する。</p>
事業概要	<p>市制度融資の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口資金(運転資金、設備資金) ・経営安定資金(運転資金) ・経営振興資金(設備資金) <p>小口資金保証料補助 市制度融資運営に伴う資金預託(取扱い金融機関) 市制度融資運営に伴う損失補償 経営安定資金融資利用者への利子補給 経営振興資金融資利用者への利子補給 《総合戦略事業8》 日本政策金融公庫等の創業融資を受けて創業した創業者への利子補給</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	1,157,262				1,137,300	19,962
	H31	1,157,262				1,137,300	19,962
	H32	1,157,262				1,137,300	19,962
H29年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	86	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課工業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	3	事業	5	細事業	10
事業名	工業振興対策				細事業名	工業技術・技能向上対策				

【全体計画】

事業目的	商工業が盛んなまちになるため、本市工業者の中心である中小企業が必要とする技術力の向上を支援する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○工業関係研修開催委託: 労働災害防止研修 ○中小企業経営相談委託: 中小企業が抱える経営・技術などの課題について、商工会議所と連携しながら、中小企業診断士や会計士などの専門家を派遣し、課題解決へのサポートを実施 ○工業技術技能習得研修事業費補助金: 工業技術・技能習得研修(フォークリフト運転技能、玉掛け技能、クレーン運転等の技能習得事業) ○人材養成事業助成金: 人材養成のため、経営者又は従業員を研修に派遣した中小企業者へ助成金を交付 ○産学官研修サポート助成金: 公設研究機関や大学等と連携し、新技術、新製品、新サービス等の共同開発や業務改善による経営革新を支援。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	1,916					1,916
	H31	1,916					1,916
	H32	1,916					1,916
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	87	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課工業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	21: 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	3	事業	5	細事業	20
事業名	工業振興対策				細事業名	工業販路拡張対策				

【全体計画】

事業目的	商工業が盛んなまちになるためには、工業製品の販路の拡張が必要なので、これにつながるような新製品や新技術の開発等に取り組む中小企業を支援する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○工業製品開発改善研究事業補助金 ○人と食の出会いフェスタ開催 ○麦まつり事業 ○創意くふう開催負担金 ○産業振興貢献企業表彰式負担金 ○織物産業振興事業費補助 ○ISO認証取得支援事業奨励金 ○展示会活用支援助成金 ○東洋大学Life研究会との連携 ○たてばやしブランド商品化支援補助金
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	

(単位: 千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	4,789					4,789
	H31	4,789					4,789
	H32	4,789					4,789
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	88	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課雇用推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	22: 安定した労働環境が整っているまちになる									
予算コード	款	5	項	1	目	1	事業	21	細事業	5
事業名	雇用安定対策事業				細事業名	雇用安定対策事業				

【全体計画】

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・UIターン支援や若者層のキャリア教育を通じ、若者の定住化促進を図る ・地元企業の知名度向上及び人材確保を図る ・障がい者の働きやすい環境整備を進める企業を支援する ・労働者の雇用環境の改善、とくに女性のキャリアアップを支援する
事業概要	<p>《総合戦略事業9》</p> <p>【主な事業費】委託料・使用料・負担金補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職業訓練校運営補助 550千円 ○トライアル雇用奨励金 40千円×3か月×10人=1,200千円 ○障がい者雇用奨励金 250千円×5人=1,250千円 ○高齢者雇用奨励金 100千円×20人=2,000千円 ○正規雇用促進奨励金 100千円×30人=3,000千円、女性キャリアアップ加算分50千円×30人=1,500千円 ○UIターン支援奨励金 市外200千円×25人=5,000千円、市内100千円×25人=2,500千円 加算50千円×2人=100千円 ◎移住定住促進通勤支援金 10千円×12か月×10人=1,200千円 ○地域就職面接会 53千円 ○就業支援事業委託 800千円
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	19,345					19,345
	H31	19,345					19,345
	H32	19,345					19,345
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	89	新規・継続	継続	担当課・係	産業政策課雇用推進係						
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	22: 安定した労働環境が整っているまちになる										
予算コード	款	5	項	1	目	1	事業	35	細事業	5・10	
事業名	勤労者金融対策				細事業名	勤労者住宅金融対策事業ほか					

【全体計画】

事業目的	安定した労働環境整備のため、勤労者が市内に住宅を新築・増改築及び既存住宅・宅地の購入をしようとする場合や、医療費・教育費など生活資金が必要となった場合に、低金利の資金を融資し、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図る。
事業概要	○勤労者住宅資金融資預託金 ○勤労者生活資金融資預託金
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	43,654					43,654
	H31	43,654					43,654
	H32	43,654					43,654
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	90	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課農業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	3	事業	49	細事業	5
事業名	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業			細事業名	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業					

【全体計画】

事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、最新農業生産技術の効果実証と、土壌改良、低農薬、有機農法など安全な野菜づくりに取り組み、本市を安全・安心な生産地であることを全国に発信する。
事業概要	<p>新時代対応型農業生産技術効果実証試験圃場の設置 2ヶ所 生育促進効果の高い最新農業生産技術導入による野菜栽培の優位性の検証</p> <p>市内農地の土壌分析 400点</p> <p>【事業実績】 H29 試験圃場 2ヶ所 34a 土壌分析 400点</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	420					420
	H31	420					420
	H32	420					420
H30年度 特記事項	<p>○新時代対応型農業生産技術効果実証委託事業 生育促進効果の高い最新農業生産技術導入による野菜栽培の優位性の検証 ベテラン農家から若手農家へのデータに基づく栽培技術の継承の検証</p> <p>○適正施肥推進のための土壌分析 園芸作物栽培圃場の土壌分析</p>						

事 業 の 内 容

整理番号	91	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課農業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	3	事業	50	細事業	5
事業名	6次産業化推進事業				細事業名	6次産業化推進事業				

【全体計画】

事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、農家による農作物の加工商品化への取り組みや、商工業者との連携による6次産業化を支援することで、魅力的な農業を目指す。
事業概要	<p>≪総合戦略事業1≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域連携事業(継続) 地域連携ライフサイエンスカフェ ○ 農産物加工商品化支援事業(継続) 市内の農家等が農産物の加工商品化に取り組む場合、経費の2分の1(上限30万円、設備含む)を補助する。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	1,162					1,162
	H31	1,162					1,162
	H32	1,162					1,162
H29年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	92	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課農業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	3	事業	5	細事業	5
事業名	農業振興対策事業				細事業名	耕作放棄地再生事業費補助金				

【全体計画】

事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、農業の基盤である耕作放棄地の解消を図る。
事業概要	耕作放棄地を借り受けた農業者が、耕作放棄地を耕作可能な状況に復旧し、その土地を引き続き5年以上耕作すること 各年 0.7haの解消 【事業期間】 平成21年度～
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	210					210
	H31	210					210
	H32	210					210
H30年度 特記事項	耕作放棄地を借り受けた農業者が、耕作放棄地を耕作可能な状態に復旧した時点で事業完了とし、復旧した耕作放棄地を引き続き5年以上耕作することを条件に、30,000円/10aを補助する。						

事業の内容

整理番号	93	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課農業振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	4	事業	5	細事業	5
事業名	畜産振興対策事業				細事業名	畜産振興対策事業				

【全体計画】

事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、酪農家の搾乳牛を増やすことにより、乳量の増産、安定的な供給を図る。
事業概要	<p>優良雌牛導入事業費補助金</p> <p>① 初妊牛導入 …… ホルスタイン種の導入に対し補助 本事業は平成23年度から平成25年度までの3ヵ年事業であったが、酪農家の高齢化や育成牛の飼養頭数が減少しており、搾乳牛の確保と乳量の増産を図るため、事業を継続する。初妊牛1頭あたりの補助上限額はホルスタイン種を受胎しているもの(ホル腹)で20万円、F1を受胎しているもの(F1腹)は10万円とし、ホルスタイン種の導入を推進する。 市内酪農家20戸 上限金額1頭 200,000円 補助率1/2以内</p> <p>② ホルスタイン種後継牛育成推進 …… ホルスタイン種の出産に対し補助 長期に渡って乳量の安定供給が望めるような系統を育成するため、優良系統の授精卵を移植、または自家系統の雌牛に優良な種雄牛の精液を人工授精させる等により、ホルスタイン種(雌)を出産した牛1頭に対し、その育成経費を定額で補助する。 市内酪農家20戸 補助金額1頭 100,000円 補助率1/2以内</p> <p>①②合計 4,000,000円(①または②のどちらかを選択するものとする)。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	4,000					4,000
	H31	4,000					4,000
	H32	4,000					4,000
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	94	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課土地改良係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	5	事業	23	細事業	5
事業名	農業基盤整備促進事業				細事業名	農業基盤整備促進事業				

【全体計画】

事業目的	農産物を安定して提供するために、狭小で傷みの激しい農道の整備を行い、地域振興作物の生産を促進し、競争力と体質の強化を図ると同時に、担い手への農地集積の加速化を推進し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整える。
事業概要	<p>国庫補助による農業生産基盤保全整備等を支援する事業</p> <p>◆他事業へ移動(→「小規模農村整備事業」)</p> <p>○大曾根地区(上三林町)農道整備 L=430m(4.0/5.0)</p> <p>【事業期間】平成26年度～平成30年度(5カ年事業)</p> <p>【補助対象事業費】45,200千円(平成28年度補助対象事業費:17,000千円)</p> <p>【補助率】国50%、県25%、市25%</p> <p>◆継続事業</p> <p>○北部用水路(大島町)県営事業負担金 L=1,500m</p> <p>【事業期間】平成29年度～平成34年度(調査2カ年、整備4カ年)</p> <p>【補助対象事業費】整備費:225,000千円(H31 25,000 H32 70,000 H33 70,000 H34 60,000)</p> <p>調査費(県営):7,000千円(H29 3,014 H30 3,986)</p> <p>【補助率】整備費:国50%、県25%、市25%</p> <p>調査費(県営):県50%、市50%</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	○北部用水路:群馬県

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	2,477					2,477
H31	6,764					6,764	
H32	18,014					18,014	
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	95	新規・継続	新規	担当課・係	農業振興課土地改良係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	5	事業	25	細事業	5
事業名	小規模農村整備事業				細事業名	小規模農村整備事業				

【全体計画】

事業目的	担い手等が安定した所得を確保し、農業が魅力ある産業としての発展を図るために市町村等が取り組む、持続的な生産を支える基盤・環境づくりをきめ細かに支援することにより、地域農業の健全な発展と農村の振興を図り、もって食料の安定供給と農業・農村が持つ多面的機能の発揮に資する。
事業概要	<p>国庫補助の対象とならない小規模な農業生産基盤保全整備等を支援する県費補助事業</p> <p>◆継続事業</p> <p>○村前地区(四ツ谷町)農道整備 L=94m(W=4.0/5.0) 【事業期間】平成28年度～平成30年度(3カ年事業) 【事業費(補助対象)】19,109(15,056)千円 [H30:11,619(9,100)千円] 【補助率】県45%、市55%</p> <p>◆他事業から編入(←「農業基盤整備促進事業」)</p> <p>○大曾根地区(上三林町)農道整備 L=430m(W=4.0/5.0) ※未整備L=300m 【事業期間】平成26年度～平成32年度(7カ年事業) 【事業費(補助対象)】58,320(45,900)千円 [H30:12,399(9,500)千円] 【補助率】県45%、市55%</p> <p>◆新規事業</p> <p>○新倉前地区(岡野町)農道整備 L=300m(W=4.0/5.0) 【事業期間】平成30年度～平成32年度(3カ年事業) 【事業費(補助対象)】33,064(24,100)千円 [H30:8,025(6,100)千円] 【補助率】県45%、市55%</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	32,043		11,115			20,928
	H31	24,100		7,650			16,450
	H32	25,734		9,000			16,734
H30年度 特記事項	<p>○村前地区(四ツ谷町)</p> <p>・請負出来高設計業務委託、農道整備工事 L=94m</p> <p>○大曾根地区(上三林町)</p> <p>・請負出来高設計業務委託、農道整備工事 L=100m</p> <p>○新倉前地区(岡野町)</p> <p>・用地測量及び調査設計業務委託 L=300m</p>						

事業の内容

整理番号	96	新規・継続	継続	担当課・係	農業振興課土地改良係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	23: 農産物を安定して提供できるまちになる									
予算コード	款	6	項	1	目	5	事業	25	細事業	5
事業名	農村地域基盤整備事業					細事業名	農村地域基盤整備事業			

【全体計画】

事業目的	営農の近代化を図り農業の振興発展を期すため、再ほ場整備を実施し、農用地の拡大及び農業にかかる基盤を整備することにより、意欲のある経営体が活躍できる環境整備を推進し、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産の向上、担い手の育成等地域農業の発展に寄与するために、基盤整備を行う。地元の合意形成を促進し、さらに事業採択に必要な営農計画の詳細である集積促進整備計画を作成する。 大島地区 A=110ha
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	1,763					1,763
	H31	5,316					5,316
	H32	5,316					5,316
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大島地区 従前地調査及び事業構想策定 1式 						

事業の内容

整理番号	97	新規・継続	継続	担当課・係	商業観光課観光振興係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	24: 多くの人が訪れたくなる個性と魅力のあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	4	事業	14	細事業	5
事業名	観光事業の推進				細事業名	観光事業の推進				

【全体計画】

事業目的	地域経済の活性化を目的として、一年を通じて観光客が訪れる「観光の四季型化」を目指すため、観光事業を推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○花ハスマつり等の開催 夏の誘客のため、花のまちづくり事業を実施する。 古代ハスの周知を行い、誘客に繋げる。 ○放送番組の開催 本市の情報を発信し、広域に周知するため、公開番組等を誘致する。 ○桜とこいのぼりの里まつりの開催 市内各所で同時にイベントを開催し、回遊性を図る。 ○ググっとぐんま観光キャンペーン 県主催キャンペーンに参加し、連携したPRを図る。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市観光協会

(単位: 千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	6,043					6,043
	H31	6,043					6,043
	H32	6,043					6,043
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	98	新規・継続	継続	担当課・係	つつじが岡公園課整備運営係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	24: 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	5	事業	5	細事業	10
事業名	公園管理				細事業名	つつじが岡公園管理事業				

【全体計画】

事業目的	市民をはじめ多くの観光客の憩いの場として楽しんでいただくため、四季型公園となった「つつじが岡公園」を適正に管理・運営すると共に、更なる集客策を追求する。また、「つつじまつり」の開催により、入園料による公園の管理費の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
事業概要	<p>(1) つつじが岡公園 整備・管理・運営</p> <p>① 公園設備の維持管理・運営</p> <p>② 四季の庭エリアの整備・運営</p> <p>③ 公園PR・外国人招聘活動《総合戦略事業15》</p> <p>④ イベント開催、市民活動の推進</p> <p>⑤ 樹木管理、草刈り、落葉広い、ゴミ収集などの園内清掃</p> <p>(2) つつじまつりの運営</p> <p>① 入園料徴収事務</p> <p>② ポスター・チラシ作成と誘客活動</p> <p>③ 観光案内・イベント開催</p> <p>④ 駐車場整備や交通整理、園内清掃など</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	67,105				67,105	
H31	67,105				67,105		
H32	67,105				67,105		
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の庭の充実(イベント会場整備、ファミリー憩いの広場充実、イルミネーション増強) ・外国人招聘事業(外国版案内看板の作製、フリーWiFi設置など) ・誘客事業(三者連携事業の充実、キャンペーン参加など) ・つつじまつりイベント事業の充実と花と緑のフェスティバルとの連携事業開催 ・土地購入(新公園隣接地、商店街空き地) 						

事業の内容

整理番号	99	新規・継続	継続	担当課・係	つつじが岡公園課つつじ保護係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	24: 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	5	事業	15	細事業	10
事業名	つつじ保護育成事業				細事業名	つつじ保護育成事業				

【全体計画】

事業目的	<p>つつじが岡公園は400年以上の歴史を持つ地域の貴重な財産であり、その価値は国が指定する文化財として認められており、本市を代表する観光地のひとつです。</p> <p>日本の園芸文化を代表するツツジの古品種群は、江戸時代初期から収集されてきたヤマツツジ群とともにほかに類のないものであり、最近では遺伝資源としても研究者から評価をいただいております。</p> <p>過去には多くの観光客でにぎわったつつじが岡公園ですが、近年では減少傾向にあります。昨年度に施行しました「館林市つつじを愛し保護する条例」のもと、江戸時代からの歴史とその価値について理解を得て、館林つつじサポーターズ倶楽部など支援者とともにつつじを保護し、より多くのお客様と一緒に花を楽しみながら後世へと継承していくことを目的としています。</p>
事業概要	<p>①ツツジの保護管理 病虫害防除、整枝剪定、施肥、灌水</p> <p>②樹勢回復、開花保持のための調査 土壌改良・根の調査、施肥、花芽等調査</p> <p>③後継木の育成 品種の保持、歴史的文化的価値の継承、観賞的価値の高い品種の育成</p> <p>④館林のつつじ啓発活動 歴史的文化的価値の理解促進 つつじガイドによる解説、HP・パンフレットによる解説、</p> <p>⑤文化財保護 文化財の保護、利用促進</p>
上位・個別等 関連計画名	名勝「躑躅ヶ岡(ツツジ)」保存管理計画 館林市都市計画マスタープラン
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	17,473				9	17,464
	H31	18,852	1,500	450		9	16,893
	H32	35,976	10,000	1,500		9	24,467
H30年度 特記事項	<p>○つつじ管理</p> <p>○文化財保護事業 ・名勝「躑躅ヶ岡」保存活用(整備)計画の策定準備</p> <p>○群馬県との共同調査 ・林業試験場研究負担金</p> <p>○つつじサミット(福岡県久留米市)</p>						

事業の内容

整理番号	100	新規・継続	継続	担当課・係	つつじが岡公園課整備運営係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	24: 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	5	事業	20	細事業	10
事業名	つつじが岡ふれあいセンター運営事業					細事業名	つつじが岡ふれあいセンター運営事業			

【全体計画】

事業目的	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」の運営と、団体受入も可能とした食事スペースである「フードコート」及び地元物産を中心とした土産品売場である「売店」を運営する施設管理業者と連携して、市民をはじめ多くの公園利用者に楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。
事業概要	<p>《総合戦略事業12》</p> <p>(1) 施設全体の運営管理 ① 機械警備、設備機器の保守点検など、管理者として安全安心な施設管理を行う。 ② 誘客業務(パンフレット作成など)</p> <p>(2) フードコート・売店運営 ① 施設管理業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施 ② 健全運営へ向けた指導等</p> <p>(3) つつじ映像学習館運営 ① つつじの啓発、学習活動、企画展示開催 ② 入園料徴収事務、案内業務等 ③ 4Dシアター機器点検</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3カ年事業費	H30	12,274				4,873	7,401
	H31	27,274				19,873	7,401
	H32	12,274				4,873	7,401
H30年度 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた講座の開催及び企画展示 ・館内コンテンツの充実 ・フードコートとの協働事業 						

事業の内容

整理番号	101	新規・継続	新規	担当課・係	つつじが岡公園課つつじ保護係					
総合計画 基本構想(基本目的)	VII: 出会いと交流のある元気で活力のあるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	24: 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる									
予算コード	款	7	項	1	目	5	事業	30	細事業	10
事業名	日本遺産登録推進事業				細事業名	日本遺産登録推進事業				

【全体計画】

事業目的	つつじが岡公園は、本市の最大の観光名所です。しかし人口減少社会となった現在、これからは国内はもちろん、海外からのお客様も積極的に誘客する手立てが必要となってきています。館林の大切な宝であるつつじを永続的に保護保全するためにも、郷土の誇りとしてのモチベーションの向上は重要となっております。日本遺産認定による、文化財としての適切な保護保全と、観光名所としての活用を目指します。
事業概要	<p>《総合戦略事業14》 日本遺産認定を目指し、事務費を計上。 ①先進地視察及び文化庁担当との事前調整及び本申請のための旅費 ②申請書類作成にかかる事務用品費 ③郵送料</p> <p>経過 平成30年1月末に、文化庁日本遺産担当者へアポイントを取り、次年度申請に向けた意思表示と今後のやり取りについてアドバイスをいただいた。 文化庁では毎年2月に全国より申請を受け付け、次年度の外部審査会を経て4月下旬～5月上旬にかけて認定の事務があるため、今回の事前相談は6月以降となる。</p>
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位: 千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	470					470
	H31						
	H32						
H30年度 特記事項	平成30年度同時策定: 歴史文化基本構想(文化振興課)						

— 基本目的 VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち —

◆施策目的 25 まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる

地域のさまざまな人々や団体、組織、行政が、共にまちを創り、新しい価値を創りだしつつ、社会目的を達成するしくみが整っているまちをめざします

◆施策目的 26 人権尊重の意識が生活のなかに定着した住みよいまちになる

すべての市民が相互理解と共生の意識を持っているまちをめざします

◆施策目的 27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる

目的を常に意識し、成果を重視する行政経営システムが整っているとともに、健全な財政運営がなされ、高品質で生産性の高い行政活動をめざします

◆施策目的 28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる

市民との共創を促すため、まちづくりの情報がわかりやすく提供され、また入手できるしくみが整い信頼される行政が展開されているまちをめざします

事 業 の 内 容

整理番号	102	新規・継続	継続	担当課・係	市民協働課市民協働係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	25:まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	7	事業	5	細事業	25
事業名	市民活動推進事業					細事業名	NPO・ボランティア活動支援事業			

【全体計画】

事業目的	市民協働の理念を普及・啓発するとともに、課題解決型の市民活動を育成するための事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働のまちづくり講演会等の開催 ・市民活動団体トップミーティングの開催 ・市民活動セミナーの開催 ・NPO法人事務処理研修会の開催 ・市民活動補助金の研究
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3カ年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	386		244			142
H31	386		244			142	
H32	386		244			142	
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	103	新規・継続	継続	担当課・係	行政課行政係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	25:まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	10	事業	10	細事業	5
事業名	区行政運営				細事業名	区行政運営				

【全体計画】

事業目的	行政区などの地域コミュニティ活動における自治意識を高める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区長協議会等との連携(区長協議会の開催、次世代を担う地域リーダー育成事業) ・一区一彩事業の実施
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	79,614					79,614
	H31	79,300					79,300
	H32	79,300					79,300
H30年度 特記事項							

事 業 の 内 容

整理番号	104	新規・継続	継続	担当課・係	市民協働課市民協働係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	26:人権尊重の意識が生活のなかに定着した住みよいまちになる										
予算コード	款	2	項	1	目	7	事業	20	細事業	5	
事業名	男女共同参画推進事業				細事業名	男女共同参画推進事業					

【全体計画】

事業目的	男女が共に輝き、生き生きと暮らせる男女共同参画社会をつくることを目的に策定した、「第5次館林市男女共同参画基本計画(平成29年度～平成33年度)」における数値目標に向かって、関係各課の施策を総合的、計画的に推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次男女共同参画基本計画の進行管理 ・男女共同参画審議会の開催 ・男女共同参画推進会議の開催 ・男女共同参画講演会等啓発事業の実施
上位・個別等 関連計画名	館林市男女共同参画基本計画
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	665					665
	H31	665					665
	H32	885					885
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	105	新規・継続	継続	担当課・係	生涯学習課生涯学習係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	26:人権尊重の意識が生活のなかに定着した住みよいまちになる									
予算コード	款	10	項	5	目	1	事業	20	細事業	5
事業名	人権教育促進事業				細事業名	社会人権教育促進事業(社会人権推進事業)				

【全体計画】

事業目的	社会人権教育促進事業の推進
事業概要	人権教育セミナーの開催 社会人権教育指導者養成講座の開催 集会所を活用した人権教育推進事業の実施
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	1,956					1,956
	H31	1,956					1,956
	H32	1,956					1,956
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	106	新規・継続	継続	担当課・係	企画課政策推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	27:高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	6	事業	9	細事業	3
事業名	政策調整推進事業				細事業名	政策調整推進事業				

【全体計画】

事業目的	総合計画を計画的に推進していくため、市政全般にわたる政策立案及び調整を図る
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特命事項をはじめとした各種調整業務を行う ・渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会への負担金(協議会事業として、栃木・群馬・埼玉3県への要望活動を行う) ・両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会への負担金(協議会事業として、東武鉄道及び両毛地域の自治体と連携した事業を行う)
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	1,005					1,005
	H31	1,005					1,005
	H32	1,005					1,005
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	107	新規・継続	継続	担当課・係	企画課政策推進係					
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち									
総合計画 基本計画(施策目的)	27:高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる									
予算コード	款	2	項	1	目	6	事業	25	細事業	15
事業名	まちひとしごと創生推進事業					細事業名	まちひとしごと創生推進事業			

【全体計画】

事業目的	<p>急速な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力のある日本社会を維持していくため、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布された。</p> <p>これに伴い、本市においても平成27年度に人口ビジョン・総合戦略を策定した。今後は各施策を着実に実施するとともにPDCAサイクルにより定期的に取り組内容を検証し改善する。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。 ・東京圏での情報発信事業<<総合戦略事業19>> 東京都の「ぐんま暮らし支援センター」等で本市への移住相談会を実施し、U・I・Jターンのための情報提供を行う。 ・婚活支援事業補助金<<総合戦略事業23>> 晩婚化及び未婚化が進む中、結婚活動を行う独身男女に出会いの場を提供する事業又は結婚を推進するための事業を行う団体に対し、予算の範囲内において事業費の一部を補助する。
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	1,175					1,175
	H31	1,175					1,175
	H32	1,175					1,175
H30年度 特記事項							

事業の内容

整理番号	108	新規・継続	継続	担当課・係	企画課政策推進係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	27:高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる										
予算コード	款	2	項	1	目	6	事業	30	細事業	5	
事業名	ふるさと納税事業				細事業名	ふるさと納税事業					

【全体計画】

事業目的	ふるさと納税制度は、「ふるさと」を応援したいという方々が、支援や貢献したいと思う地方公共団体へ寄附を行った場合、寄附金のうち2千円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除される仕組みのこと。 本市においては、寄附を頂いた方へ市の特産品をお礼の品として贈り、寄附促進による自主財源の確保と地場産業の振興・特産品PRとの相乗効果を図る。
事業概要	<p>《総合戦略事業21》</p> <p>(1) 制度の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成・配布 ・ホームページ等によるPR <p>(2) 寄附金受領証明書の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附者に対し、寄附金受領証明書を発行・送付 <p>(3) 寄附者への本市の魅力PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附者への謝意及び特産品PRとの相乗効果による寄附促進を目的として、本市特産品等を贈呈
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3力年事業費	H30	18,890					18,890
	H31	18,890					18,890
	H32	18,890					18,890
H30年度 特記事項	ふるさと納税寄附者への贈る返礼品のリニューアルを進め、本市への寄附の増進を図る。						

事業の内容

整理番号	109	新規・継続	継続	担当課・係	秘書課広聴広報係						
総合計画 基本構想(基本目的)	Ⅷ:まちづくりのしくみが整い発展できるまち										
総合計画 基本計画(施策目的)	28:開かれた行政となり、透明性の高いまちになる										
予算コード	款	2	項	1	目	2	事業	5	細事業	6・12	
事業名	広聴広報事業				細事業名	広聴広報事業ほか					

【全体計画】

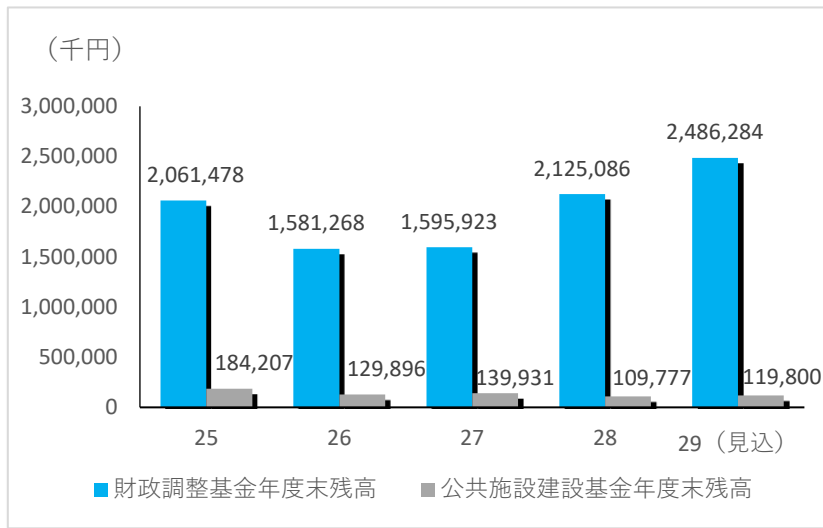
事業目的	市民の意見や要望を市政に反映させるため、積極的に広聴に努めるとともに、開かれた行政となり、透明性の高いまちになるために、広報紙の発行や市公式ホームページなど、効果的な情報発信に努める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年22回(1日号と15日号。ただし、1月と8月は1日号のみ)の広報紙の企画発行 ・市公式ホームページの管理運営委託
上位・個別等 関連計画名	
事業主体	館林市

(単位:千円)

3力年事業費	年度	事業費	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	H30	27,575				1,653	25,922
H31	27,575				1,653	25,922	
H32	27,575				1,653	25,922	
H30年度 特記事項							

5. 参考資料

(1) 主な基金の状況



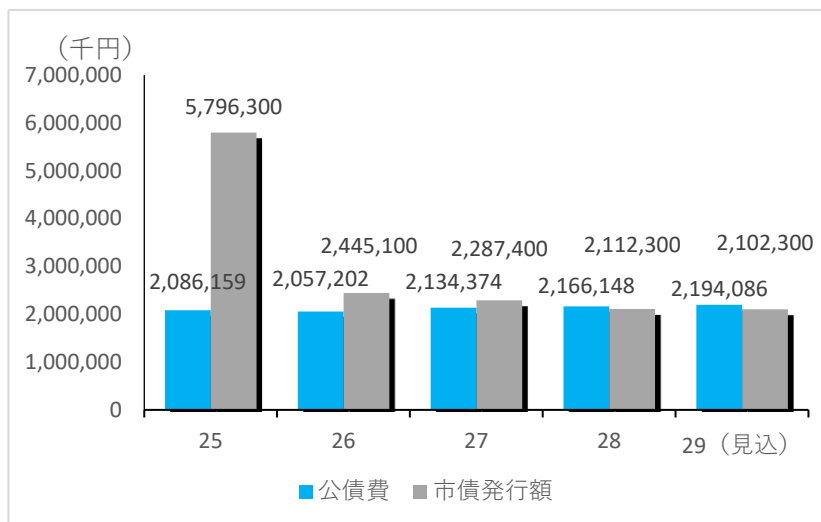
【財政調整基金】

年度間の財源の調整を行い、長期にわたる財政の健全な運営に資することを目的として設置。

【公共施設建設基金】

文化施設、スポーツ施設、福祉施設等の建設事業及び公共のために必要とする用地取得事業等の財源に充てることを目的として設置。

(2) 公債費と市債の状況



本市では、財政負担の平準化及び世代間負担の公平化を図るために市債を発行しています。発行に際しては、後年度の財政負担が過大にならないように配慮し、健全な財政運営に努めています。

※ 公債費＝借入金（市債）を返済するための支出。
 ※ 金額は、平成19年度から平成24年度まで実施した公的資金補償金免除繰上償還、及びこれに伴う借換債を除く。

(3) 定員適正化に向けた取組みと職員数

本市では、平成23年3月「職員定員適正化方針」を策定し、平成23年度から27年度までの5か年間の職員定員数については、集中改革プランの目標値645人を維持することとしていました。

その後、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする、「第二次職員定員適正化方針」を平成28年2月に策定し、民間委託や民営化、事務事業の見直し等で、職員の配置が不要あるいは減員となる部署が発生した場合であっても、新たに発生する地方分権や権限移譲、市民ニーズの高度化への対応、あるいは今後の積極的なまちづくりのために、職員を効果的に配置していく必要があることから、一部事務組合等への派遣職員も含め、前方針と同様の定員645人を維持することとしました。

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29
「職員定員適正化方針」	645	645	645	645	645	645
実配置上の職員数	637	636	632	637	633	634

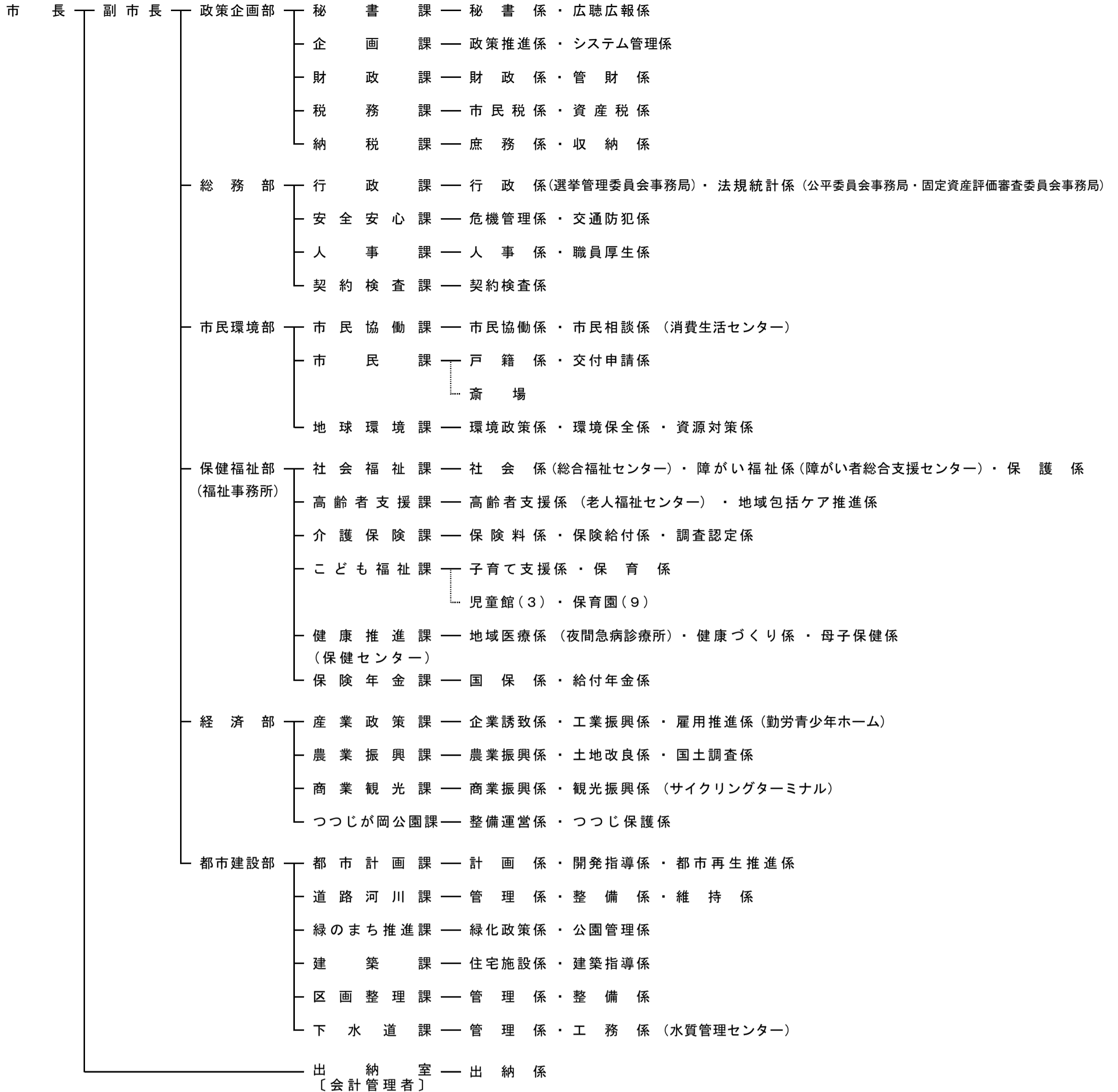
(一部事務組合等を含む)

(4) 主要な道路・街路及び施設整備事業等の計画期間

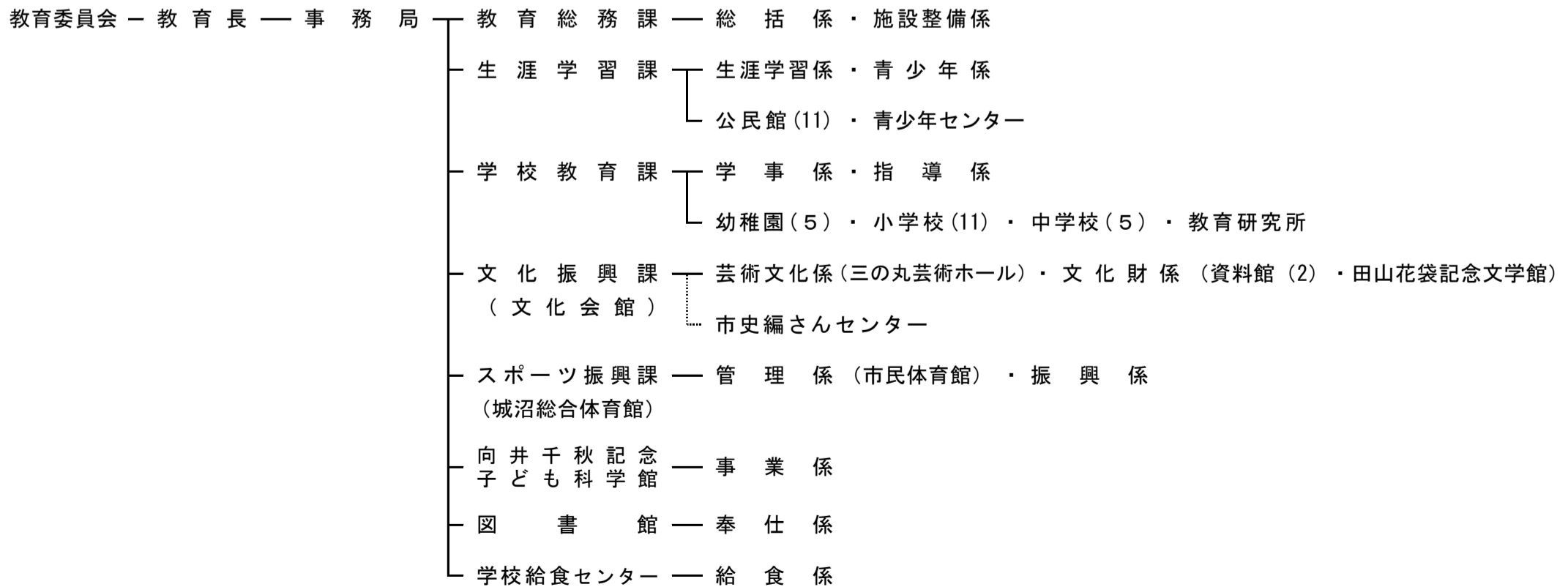
<一般会計>

事業名	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	全体計画	担当課	整理番号
広域防災拠点整備事業						平成27年度 ～平成31年度	安全安心課	9
茂林寺前駅西側区域市道整備事業						平成23年度 ～平成35年度	道路河川課	67
大手町大街道線道路改良事業						平成30年度 ～平成39年度	都市計画課	69
中央通り線道路改良事業						平成28年度 ～平成35年度	都市計画課	70
館林駅東口駅前広場施設改良事業						平成25年度 ～平成32年度	都市計画課	74
都市公園等整備事業（花山1・2号公園）						平成25年度 ～平成30年度	緑のまち推進課	78

(5) 平成30年度 館林市行政機構図



市議会 — 議長 — 議会事務局 — 庶務係・議事調査係



監査委員 — 監査委員事務局 — 監査係

農業委員会 — 農業委員会事務局 — 農地係

「.....」 は係相当施設
「()」 は上記課または左記係にて事務を執行する施設等